

漫画

氷野広真

HINO HIROMA

原作

ほーち

キャラクター原案

saraki



えっ

転移失敗!?

.....成功?

2

第 8 話

003

第 9 話

029

第 10 話

055

第 11 話

081

第 12 話

107

第 13 話

133

第 14 話

163

あとがき

188

番外編
(第7話)

189



このペースなら
明日には
森を抜けられるかな

ガ
ン
ッ

ガ
ン
ッ

ガ
ン
ッ



あれは
—
!





しかしスクロール
ってのはすげえな

あの姫騎士が
このありさまだぜ

くっ…
殺してやる…!!



これはインキュバスの
精液を錬成して作った
超強力な媚薬だ

ん…ぐう…

ぐっちゅ
ぐっちゅ



さてさて
その態度がいつまで
もちますかねえ

どろろ



いや
女性の方が
悪いヤツな
可能性も…

いちおう
調べておくか



これは…
助けるべき
だよな…

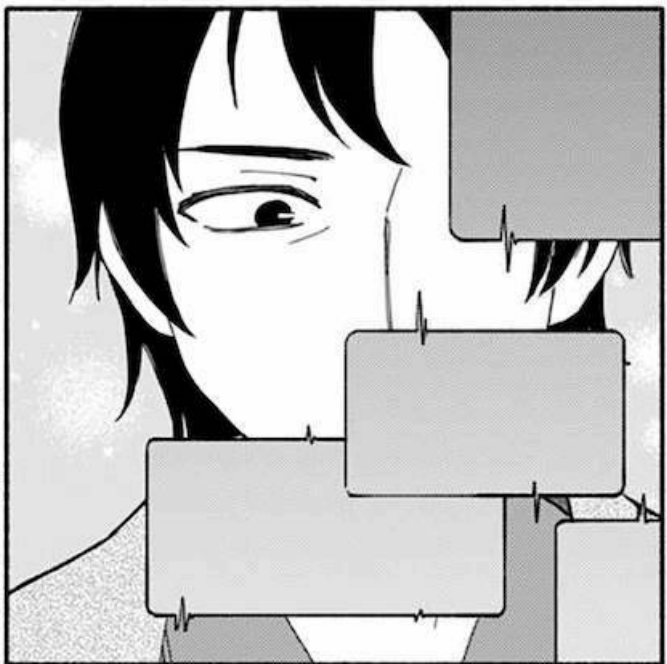


【鑑定+】!!

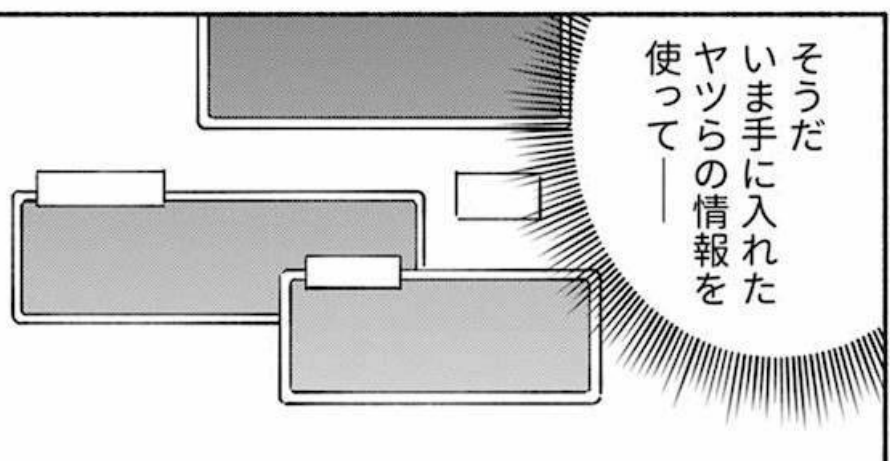


よし男ども
クズ確定!!

さてどうやって
助けに入るか…



まあヤバければ
【帰還+】で
逃げればいし



そうだ
いま手に入れた
ヤツらの情報を
使って—





なんちゆう
エロい格好だ…



ふう…
うまくいって
よかった

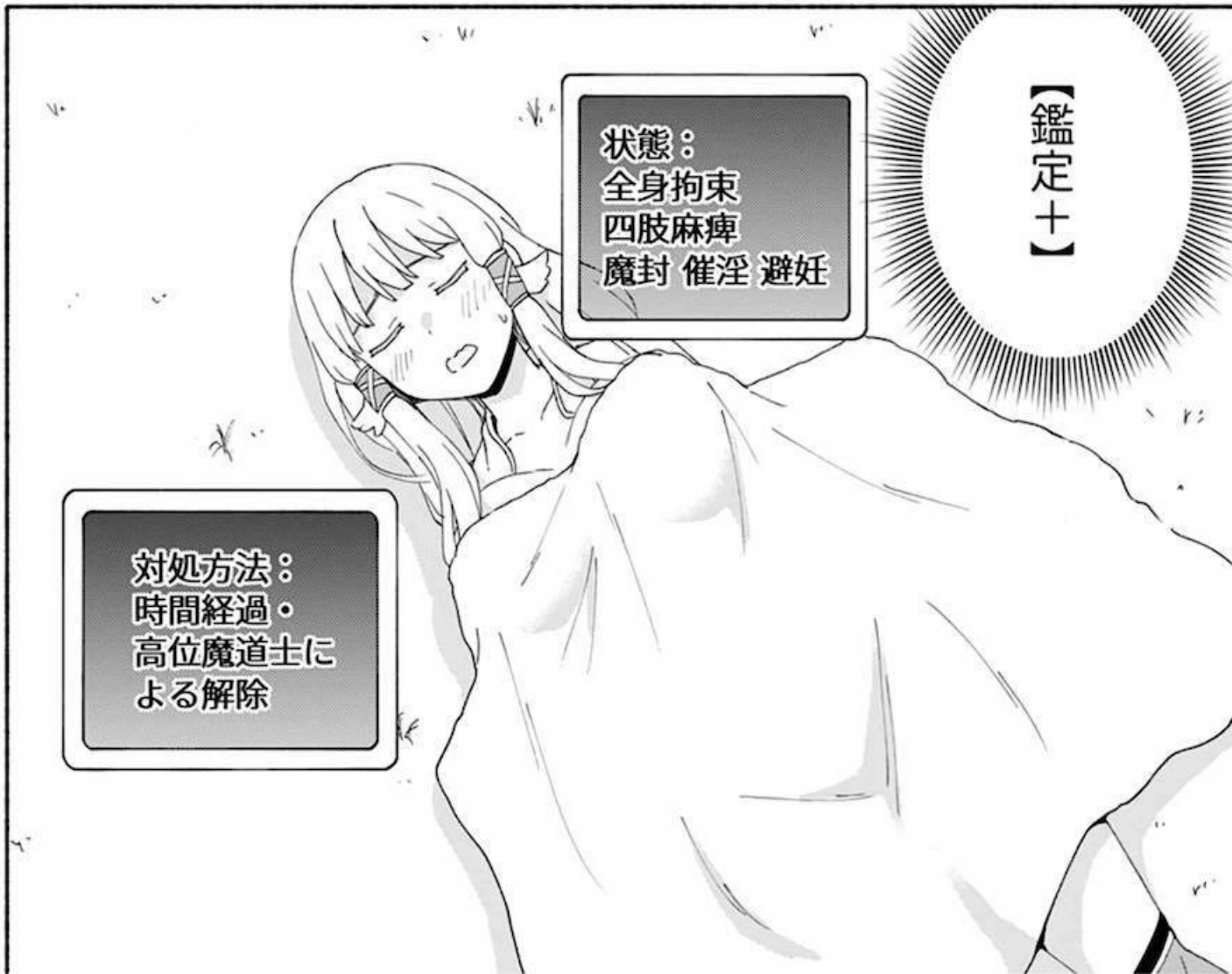
しかし…



媚薬を塗られて
るんだっけか



ハッ
いかんいかん





ここで
見捨てるほど
鬼畜じゃないんで
ご安心を

すまないが…私を
助けてはくれない
だろうか？



残り時間あと…
20時間…て長いな

なあ…君…



礼？



そうか…
礼は…
先払いで
いいか？



いやいや
とにかく今は
回復するまで
待たないと！

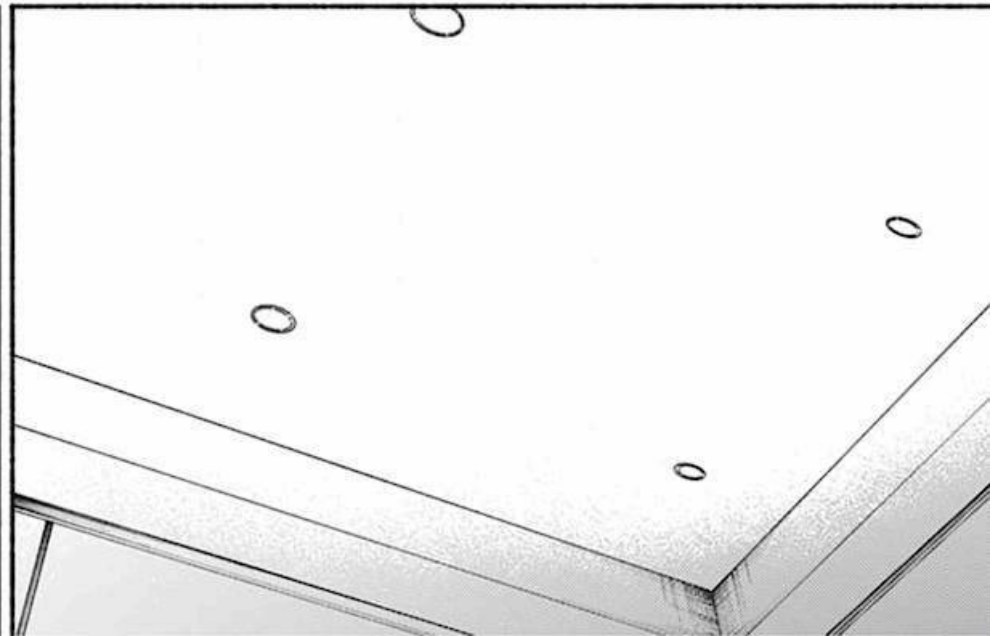


飲んで



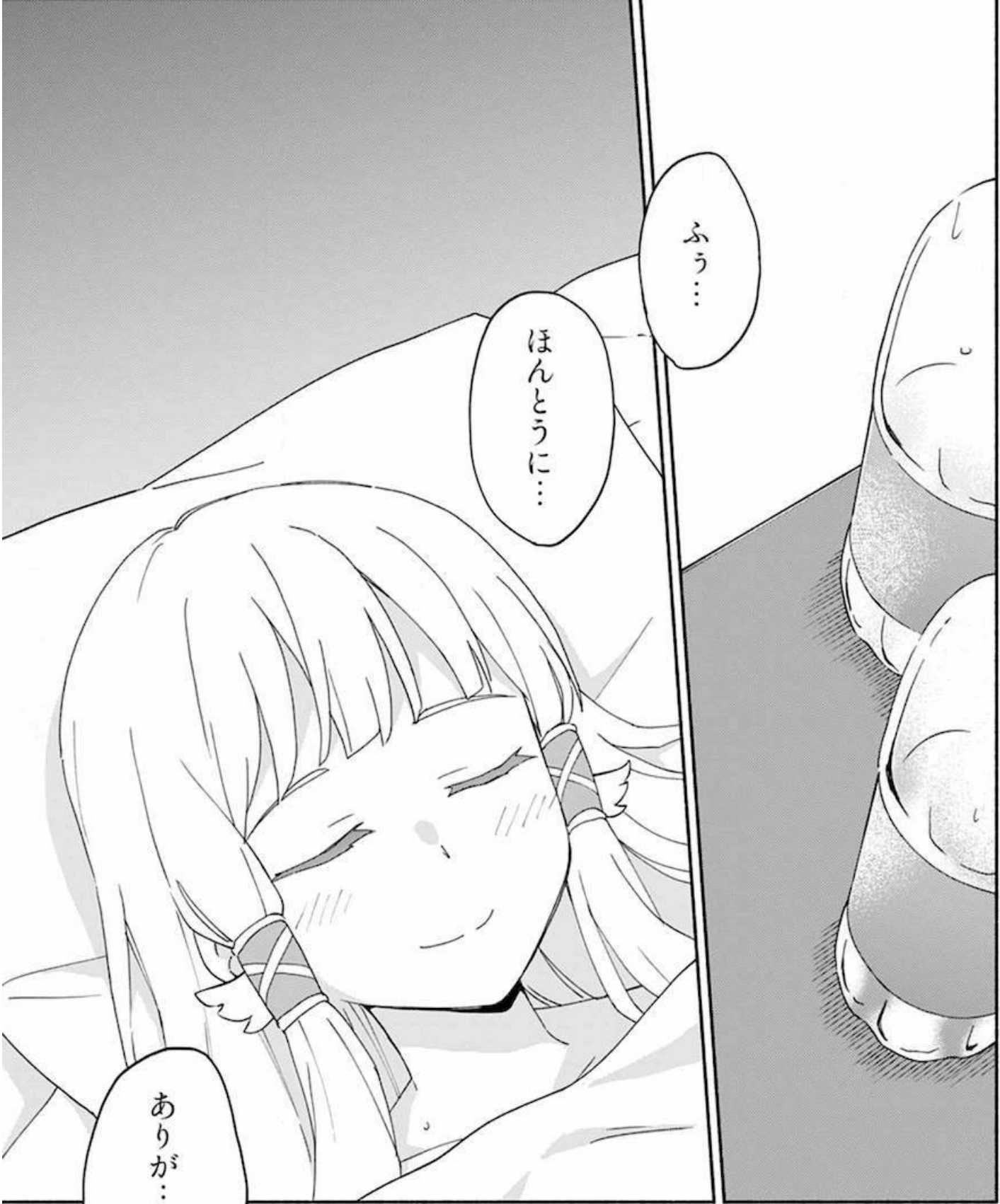
はあ!?

私を…
この場で
好きにしている…









ふう...

ほんとうに...

ありが...とう...





私を：
好きにしている



んあっ

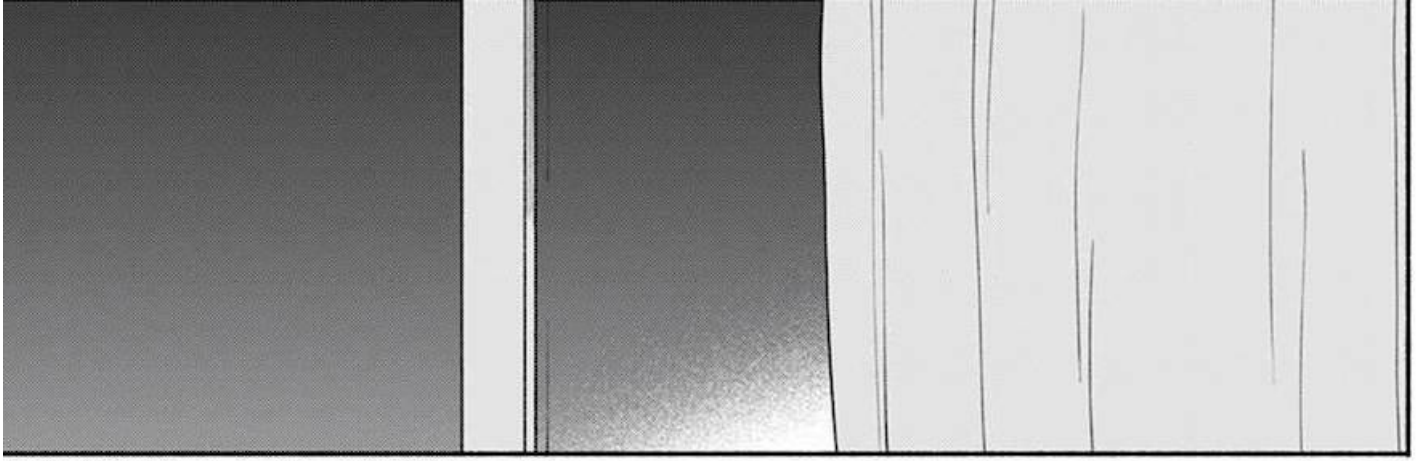


こんないい女が
してもいいと
言ってくれているのに

それを無視するのは
馬鹿なんじゃ
ないだろうか



申し訳ないけど
1回だけ…



踏みとどまった

ふー...



おはよう
動けるようにな
った？



ああ…
なんとか



自己紹介が
まだだったな

私はアラリーナ
冒険者だ



あ私の鎧…



俺は陽一

えっと
庶民です

ヨーチチ…
ヨーチチ殿か

うむ



直しといたけど
着る？

直した？
あれはもう
直しようがないほど
切り裂かれていた
ように思うが

まあそういう
スキルを持つって
いうことで



スキルか…
では転移もスキル
なのかな？

ま
そんなとこ

ってかよく
お気づきで

森の中にいたのが
次の瞬間には
屋内だったのだ



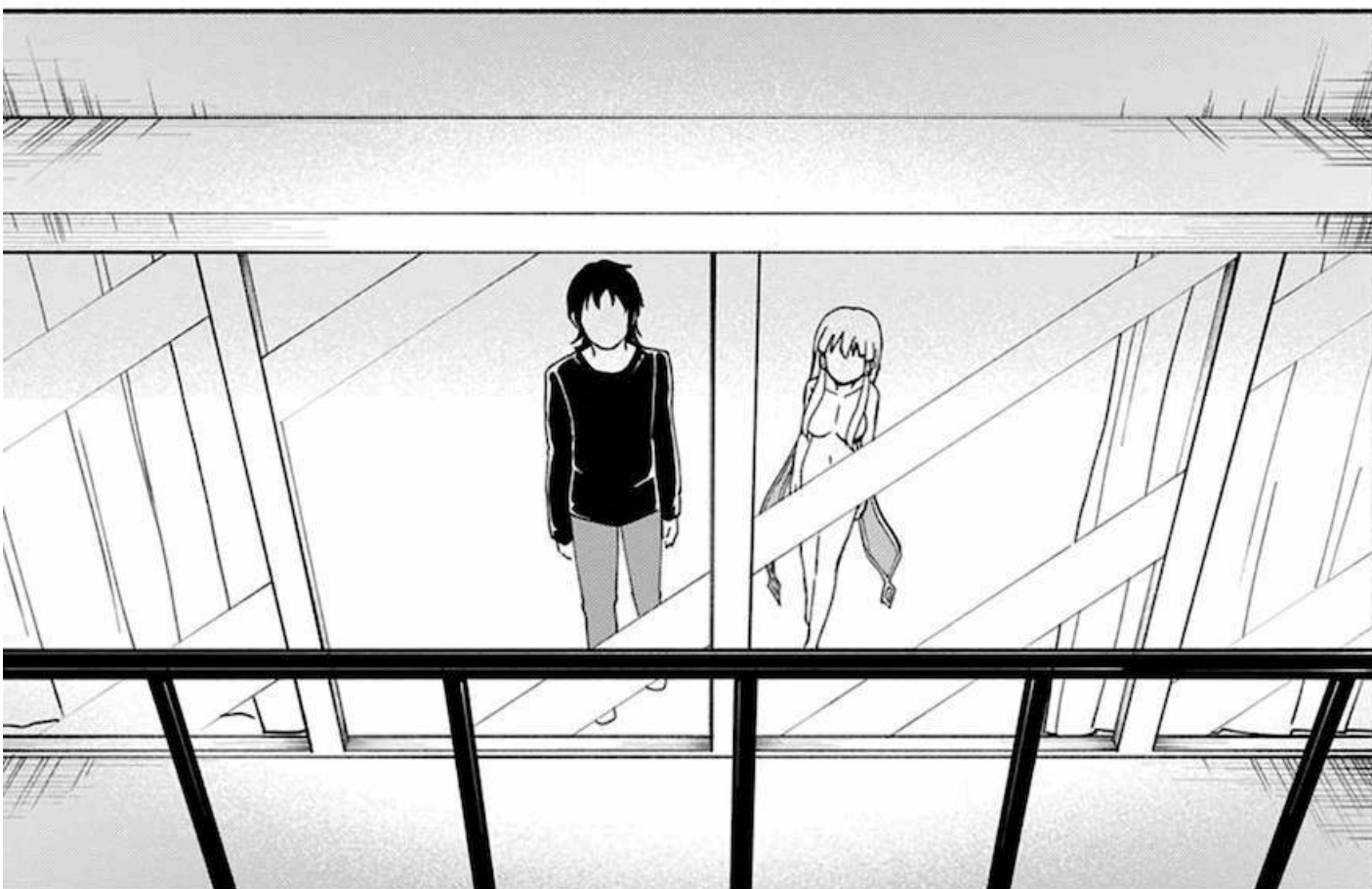
いくら意識が
朦朧と…

ぐう

むう…

あ
腹減ってるよね







これはたしかに…
見たことがない
町並みだな

でしょ

とところで
ヨーチ殿

ん？

私は…
魅力のない
女だろうか？

はい!?
なんで!?

抱いてほしいという
私の要望をヨーチ殿は
受け入れなかったから…

そそれはあのときの
アラーナさんがまともな
状態じゃなかったからで

魅力がないなんて
ことはないよ!

顔はいままで会ったこと
ないくらいの美人だし

肌はすべすべで
真っ白だし
胸は大きくて
スタイルもいいし

こんな魅力的な人
俺は見たことないよ

では…
いまなら
抱いてくれるか…？

んっ

ふっ…









それで
アラナー…
よかったら

俺の異世界冒険の
協力者になって
くれないかな？

ああ
お安い御用だ



…どうした？

いや…
俺みたいな
得体のしれない
男の申し出に
即答したから…

ヨーチ殿は
私の命の恩人
じゃないか

それに…

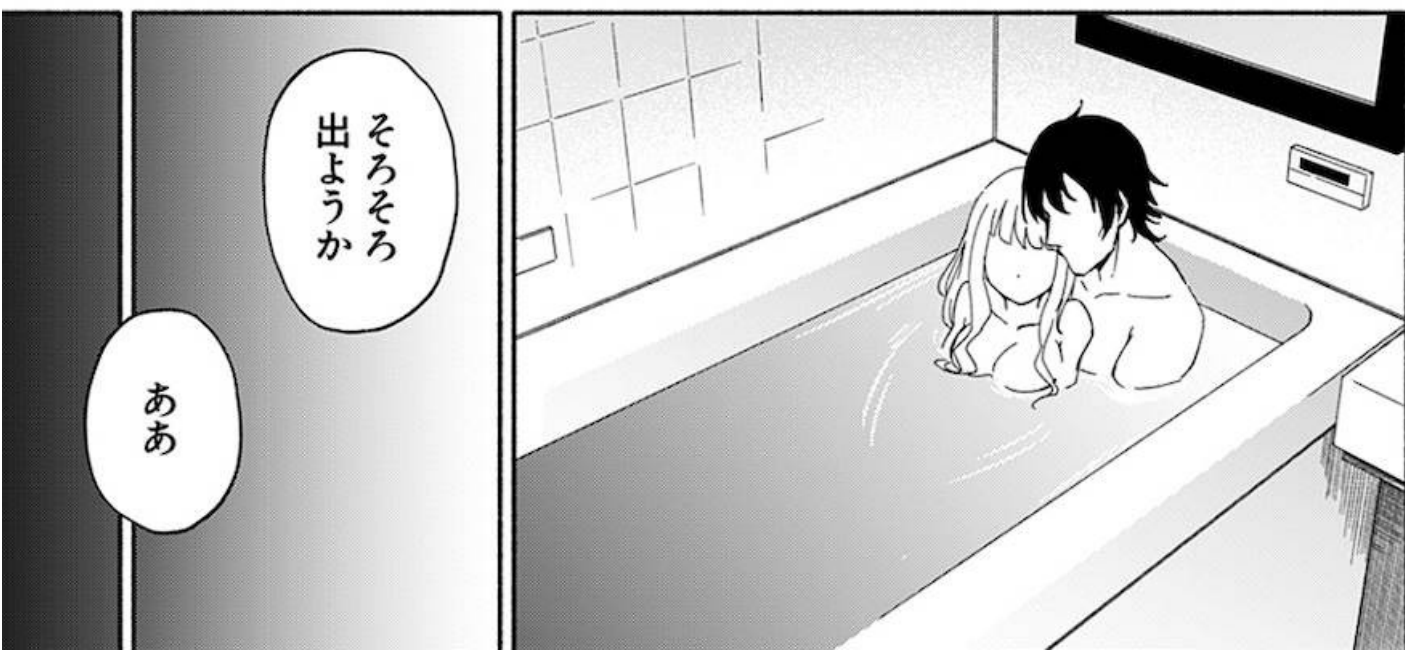


その…
私の初めての相手
なのだから…

何かあっても
望むところというか
なんというか…

…アラナー







じゃじゃあ
アラナーは!!

ふふ…

すでに介入済みの
対処済みですので
ご心配なく

スキルを確認
してみてください

スキル…?

あ
増えてる

よわたりじょうず
【世渡上手】

【帰還+】などの転移によって
世界間移動を行なった場合に
起こるであろう不具合を修正・最適化
使用者および同行者に適用

こんなこともあろうかと
自動習得・適用されるよう
事前に仕込んでおいたのです

おお…





でもですね
今回のように
どうしても必要なものは
追加していきますから！

たまりにで
結構ですので
スキルは確認
してくださいね？

ね？

あーはいはい



じゃ本日は
このへんで

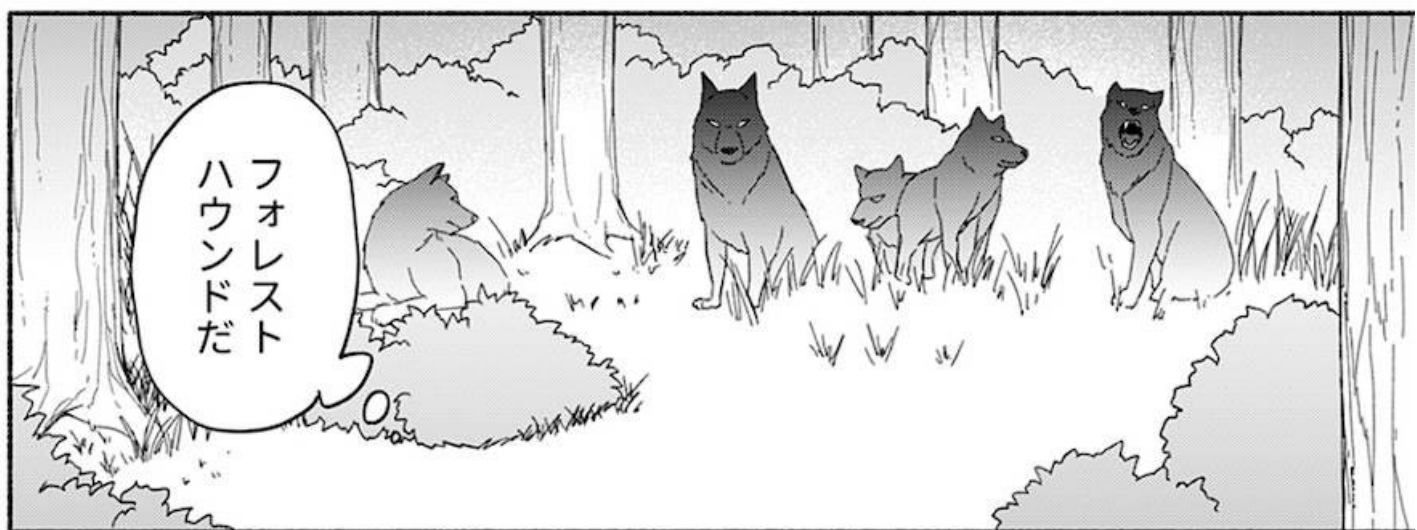
これから
よい人生を

はい
どうも

そのセリフ
何回目よ？



【帰還+】!



フォレスト
ハウンドだ



見えるところに
5匹：
木陰や茂みに
4匹か

では
準備運動も兼ねて
ヨイチ殿に
私の力を
見せておこう





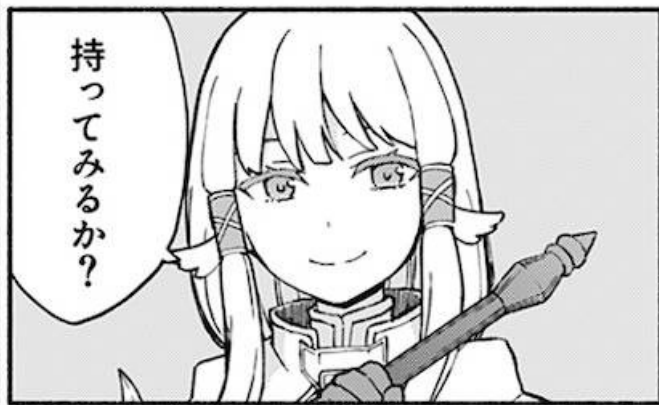
【心装】
武器や防具と
精神体を融合させることで
装備品を精神世界に収納
可能とするスキル



【心装】に登録した武器を
精神世界に収納すると
どれだけ破損していても
登録時の状態まで
復元されるんですよ
藤の堂さん！



ただ修復には
魔力や生命力を
消費するため
破損具合によっては
死に至ることも
ありますので
気をつけてくださいね



この斧槍には
柄と斧頭の芯に
グラビタイトという
比重が大きい鉱石が
使われていてな

グラビタイト
それ自体も重いのだが
魔力を通すことで
重さを増加させることが
可能で

最大重量は
100kgといった
ところかな

それとは別に
重さ軽減の効果が
付与されている

使用者に対して
重さを10分の1にする
この斧槍はそういう
『魔装』なんだ

武器や
防具の中には
魔術効果をもつ
ものがあります

そういった
武器のことを
『魔装』と
呼ぶんですよ

いや10分の1つつつても
3kgから10kgでしょ？

その細腕で
よく振り回せるね

私は
魔力を使った
身体強化が
得意なのでね

むん、

ちなみに
それってさ
ハルバードなの？

もともとは戦斧
だったのだがな
ハルバードを見た時に
便利そうだと思って
少々手を加えたのだよ

【心装】は
精神と融合しているの
で刃や柄の長さや大きさを
変える程度の形状変化が
可能である

なんにせよ
アラリーナが強いって
ことはわかったよ

じゃあ次は
俺の番かな

ふむ
ではお手並み拝見と
いこうではないか





弾丸の補充の
アテがない突撃銃は
あまり使いたく
ないんだけど

アラリーナに心配
させないくらいの
実力を見せて
おきたい



WEAK POINT

【鑑定十】



とまあ
こんなもん

うーむ
すごいものを
見せてもらった



ドサァ...



ジュウカ：
見たことも
聞いたこともないな

火薬を使って
金属の弾を
飛ばすだけだから
誰でも使えるん
だけどね



それは魔装
なのか？

いや
ただの武器

銃っていう
んだけど



火薬とはたしか
燃えやすい粉：
だったか？

こっちじゃ
火薬ってないの？

古い文献で
見たことはあるが

燃やすにしろ
爆発させるにしろ
魔術を使ったほうが
効率がいいからな

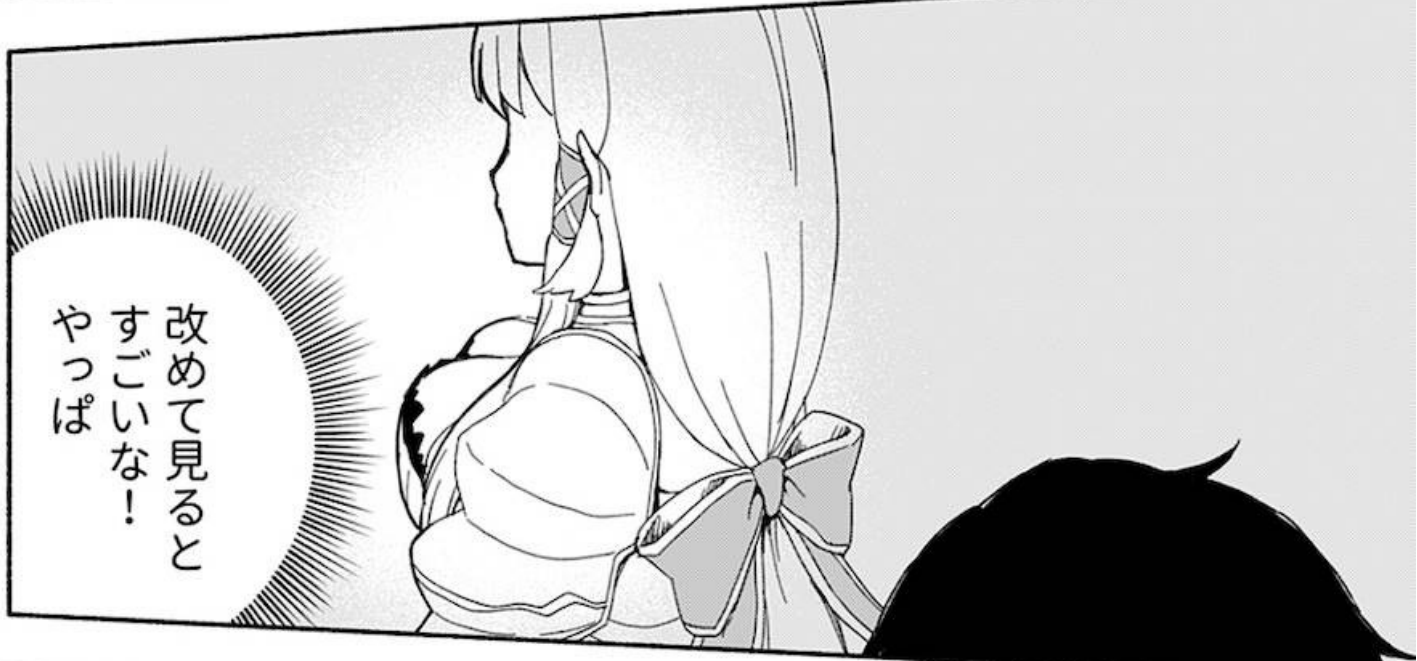
へええ



できればそれは：
ヨーチ殿専用の
【心装】ということに
してもらえると：

ああ
そうするよ
ご心配なく

素人が
ちよつとした訓練で
ワンアイドベアー
クラスの魔物を
倒せるとなると
いろいろ不都合も
あるのだろう





ふふ…では
軽く叩いてみるといい

いや
デザインとしては
いいと思うんだけど
鎧として考えると…

なあ
その鎧って
露出多すぎない？



おお？



今度は
ゆっくりと
触れてみてくれ

わかった

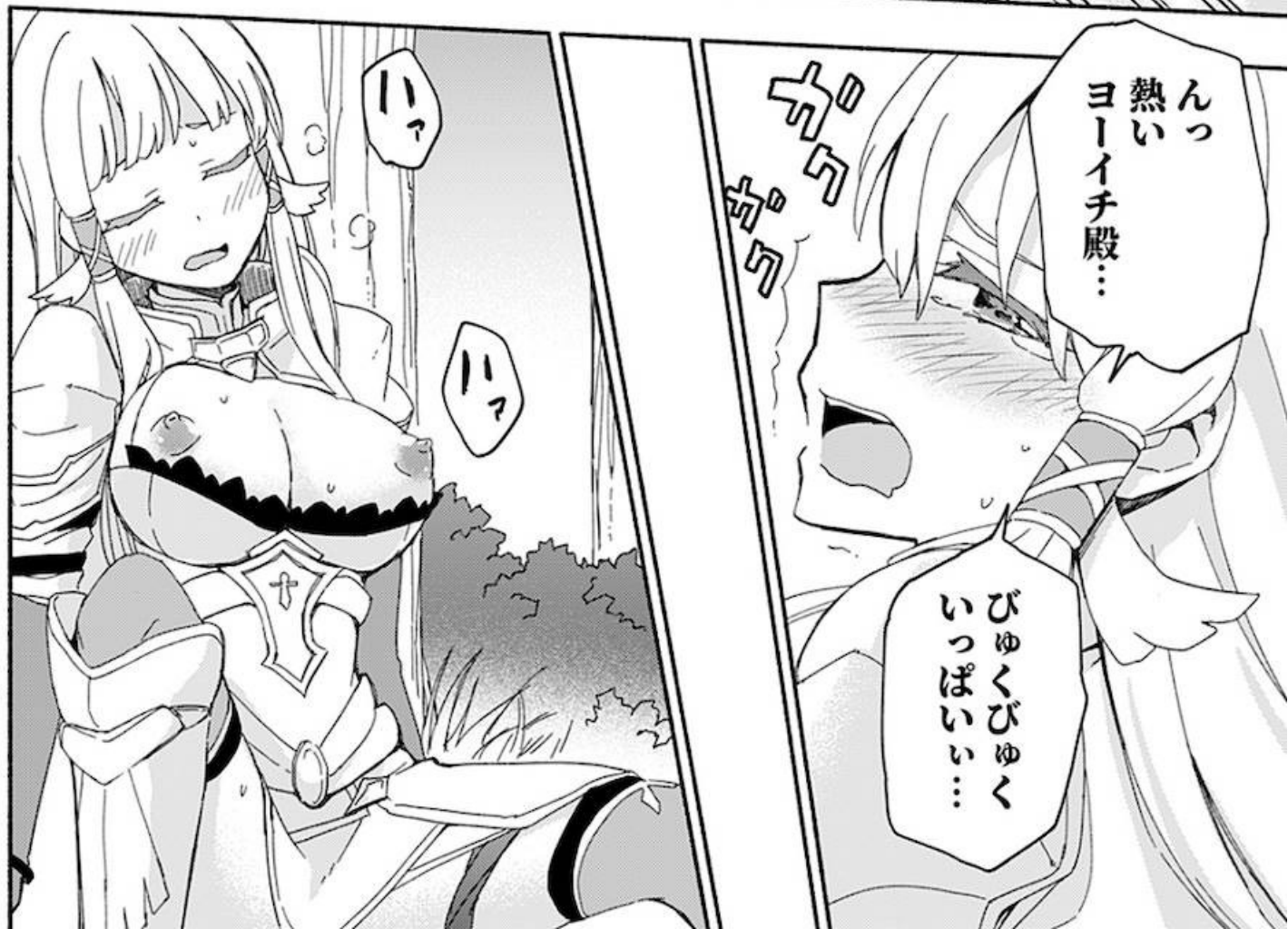


すごいだろう？

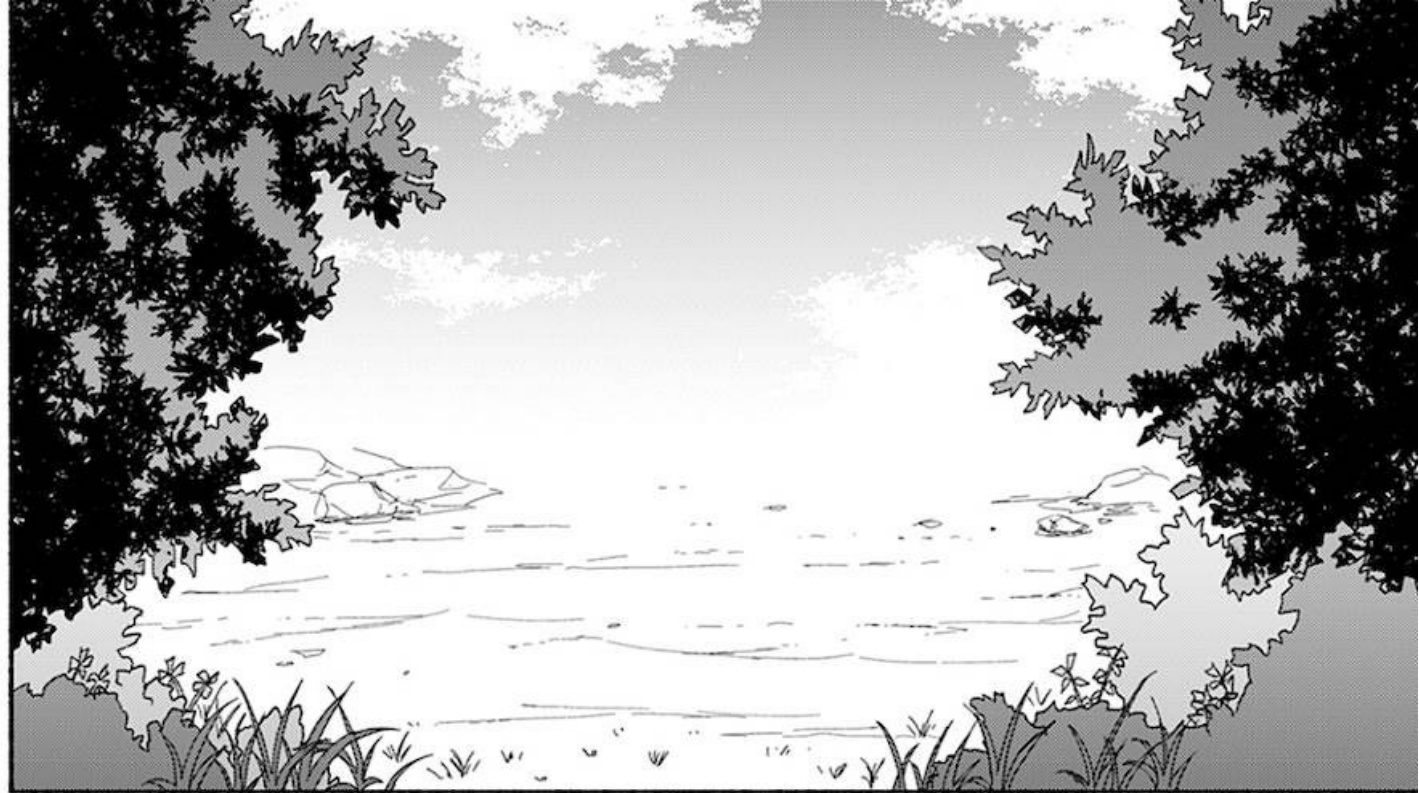
この魔装には
フルプレートメイルに
身を包んでいるのと
同じ効果があるのだ

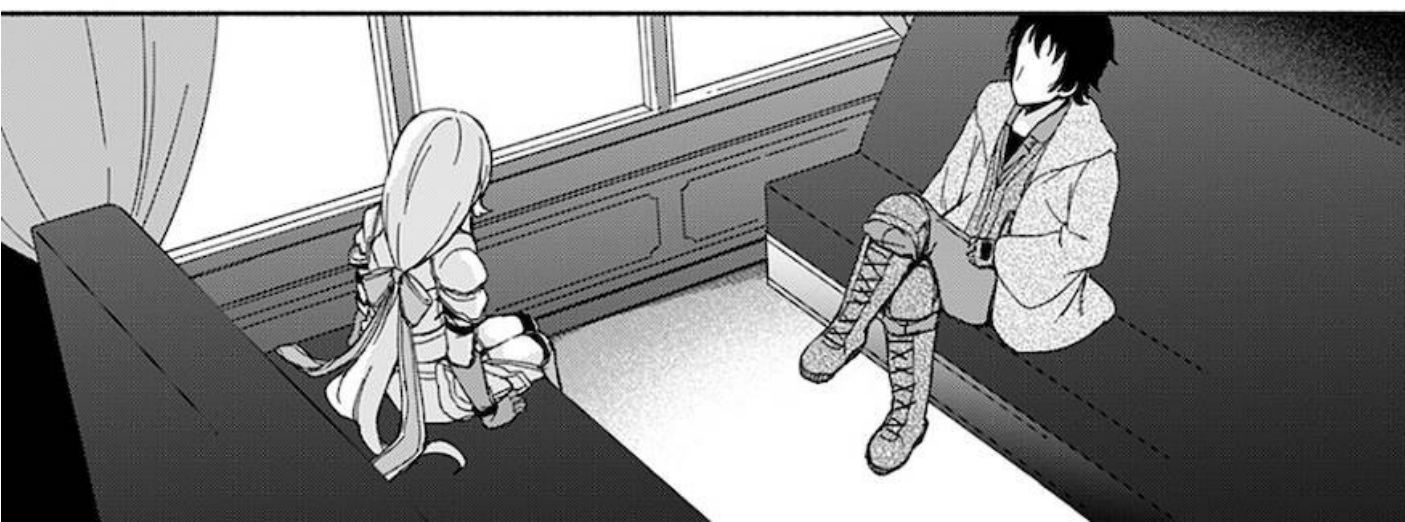
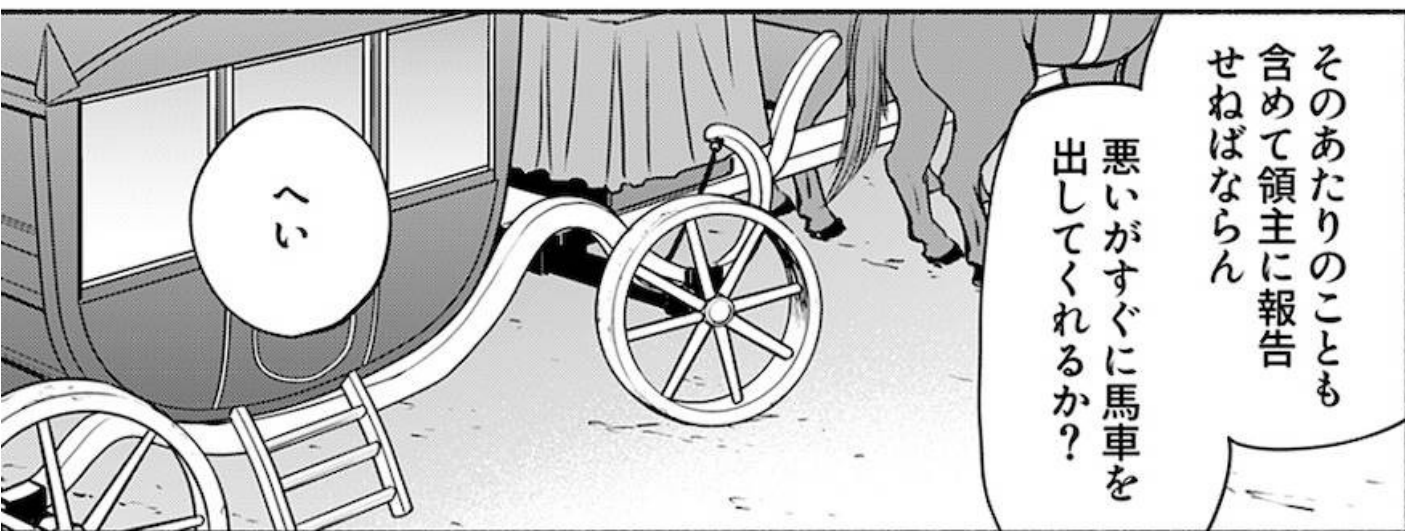




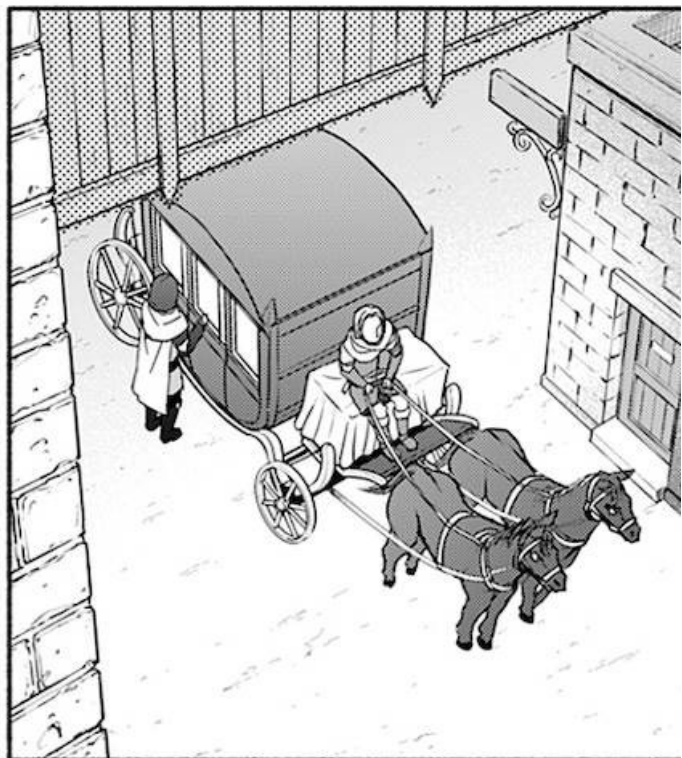


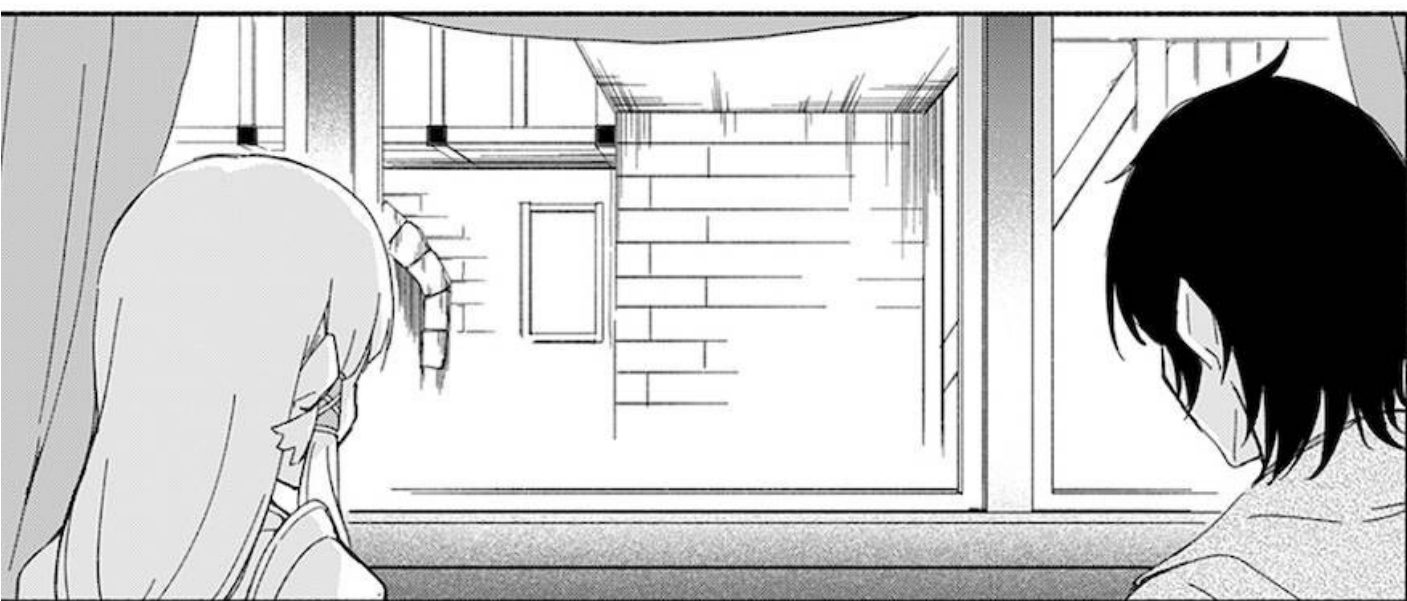






着きやしたぜ







わが町

メールグラードへ
ようこそ

ガラ

ガラ

ガラ...

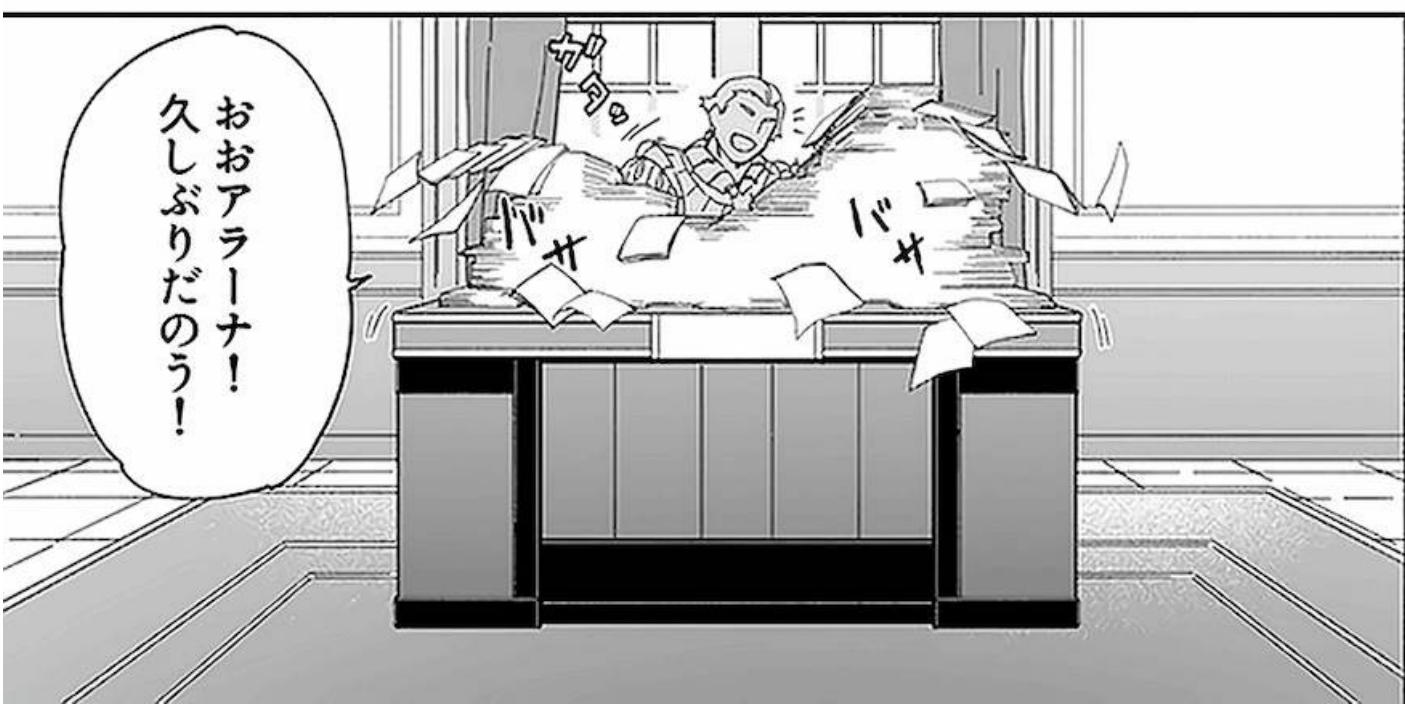


辺境伯が
お待ちです
アラーナお嬢様

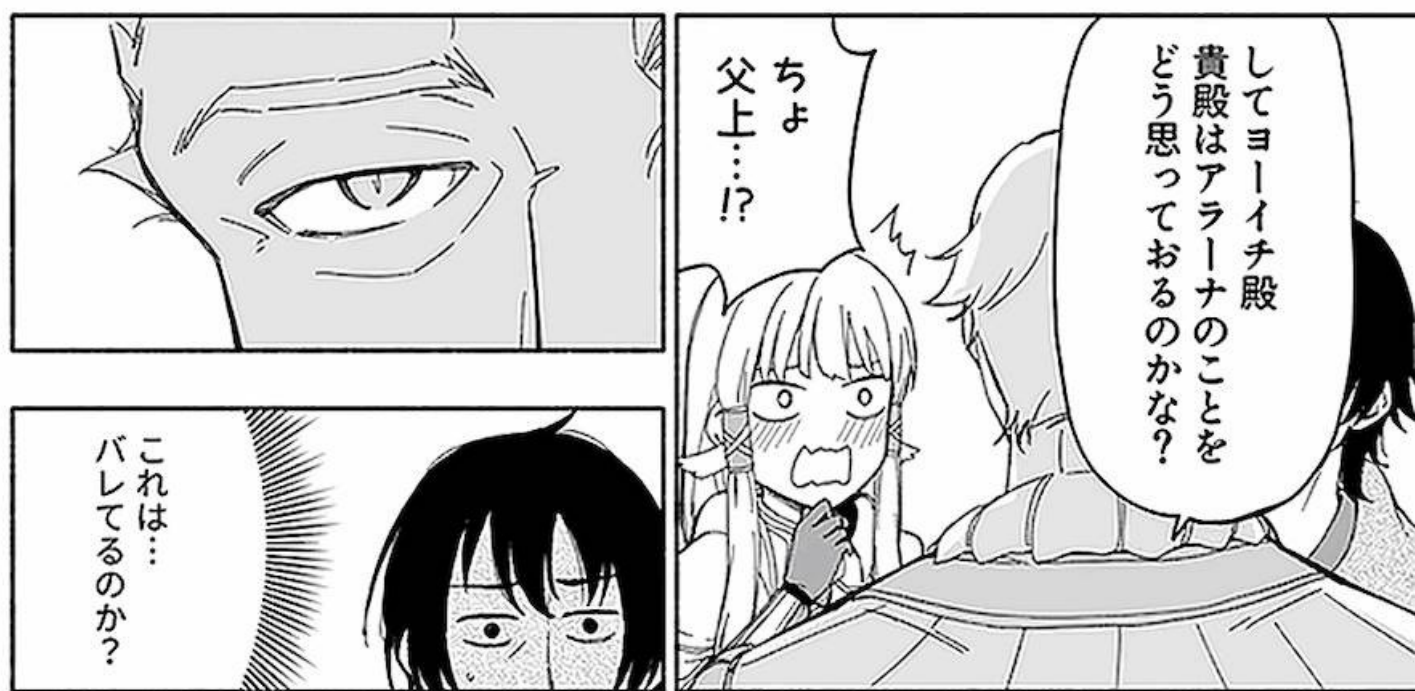
うむ
ご苦労

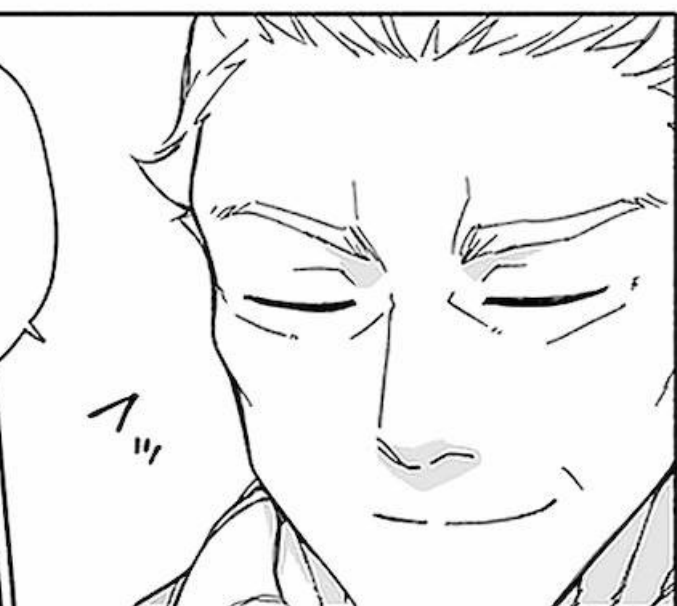


父上!



おおアラーナ!
久しぶりだのう!







しかし
本家のクソ野郎どもめ
僕の娘に
なんということを…

この件は僕に
任せてもらう
ということだ
いいのだな？

はい
私自身の手でケリを
つけたいという思いが
なくはありませんが

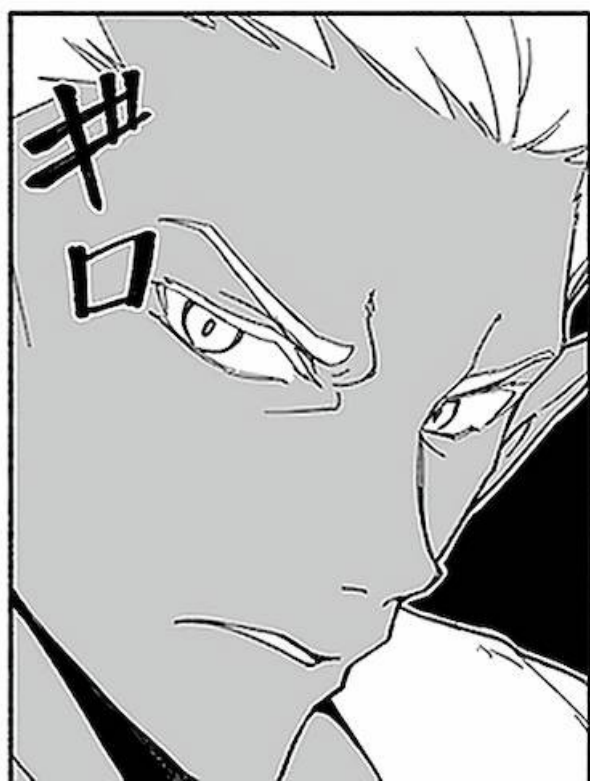
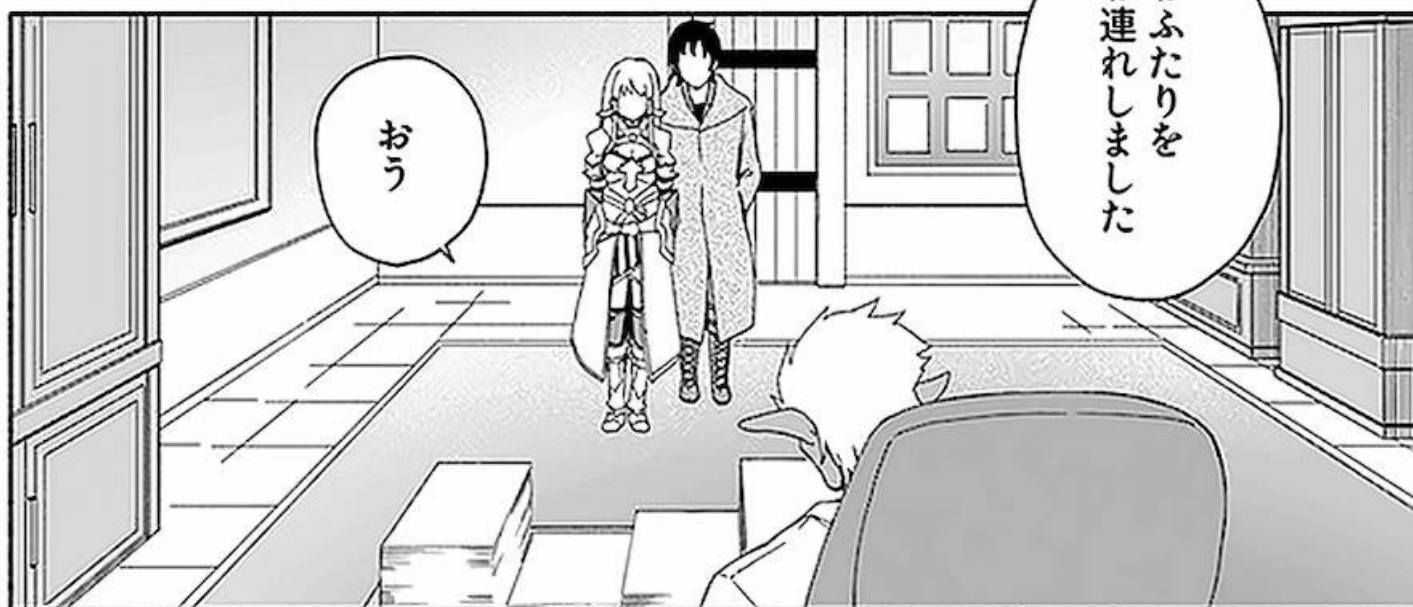
私怨を絡めるよりも
父上の手で厳正な処置を
お願いしたいと
考えております

嘘である

あんな男どものことは
すでにどうでもよく
なっていた

ああ
ヨーイ子殿…







ギルドマスター

報告に
あがりました

ズ...

でかい

にへだ

ちよっとー
アラーナちゃんやあん
おじいちゃんって
呼んでよあ

!?

ふう
つれないなあ

いまは冒険者
として報告に
きているのです
ギルドマスター・
セレストン殿





巻き込まれて殺された
やつは2ランクアップ
遺族は費用こっちもちで
よそへ移住してもらおう

やつらに与くみしたやつは
ギルドから除名
ってとこだな

まあ
そんなところ
でしょうね

除名になるやつには
身寄りがいないってのが
救いだったかな



では用事も
済んだことですし
私はこれで

ええく
お茶ぐらい
飲んでこうよおく

あの山積みになった
書類を片づけてからに
してくださいね
ギルドマスター殿



さて行くぞ
ヨーイチ殿

ぷー！
アラーナちゃんの
いけずっ！！

はいはい
じゃあね
おじいちゃん



ヨーチ殿



この世界にも
お辞儀の文化が
あるだなあ



あの人の
尖った耳……
はっしんじで
アライナにも
そういえば
ダークエルフの血が
流れているんだよな



ヨイチ殿に
見られて
悪い気はせんよ

外見的特徴は
この銀髪しか
受け継いでいなくてな

あごめん
じろじろ見ちゃって



ヨイチ様は
Gランクからの
スタートになります

冒険者とその依頼には
A〜Hのランクが
設定されています

基本的には
1ランク上までの
依頼しか受けることが
できないきまりです

以上で登録は
完了です

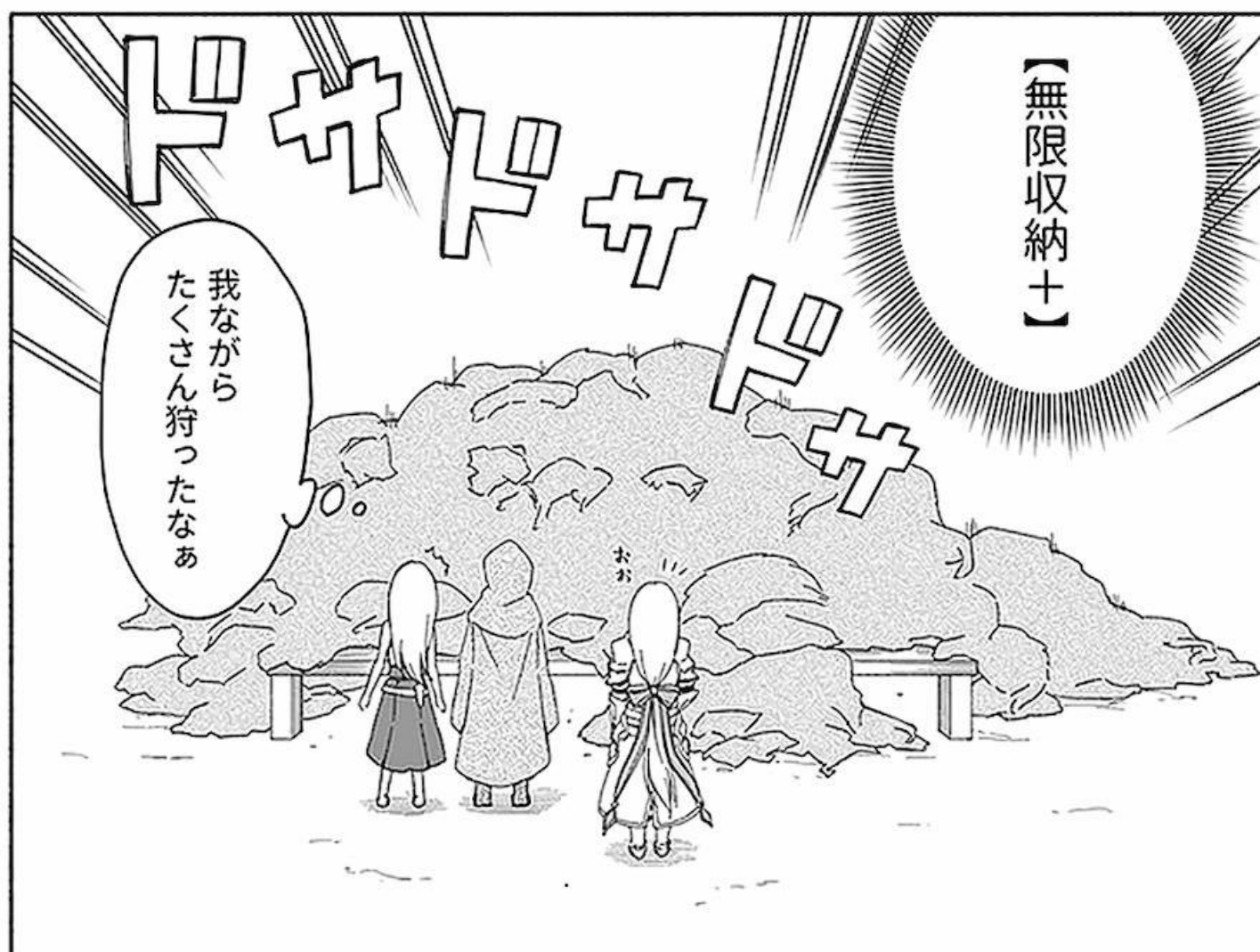
こちら
冒険者カードです
なくさないよう
お願いします

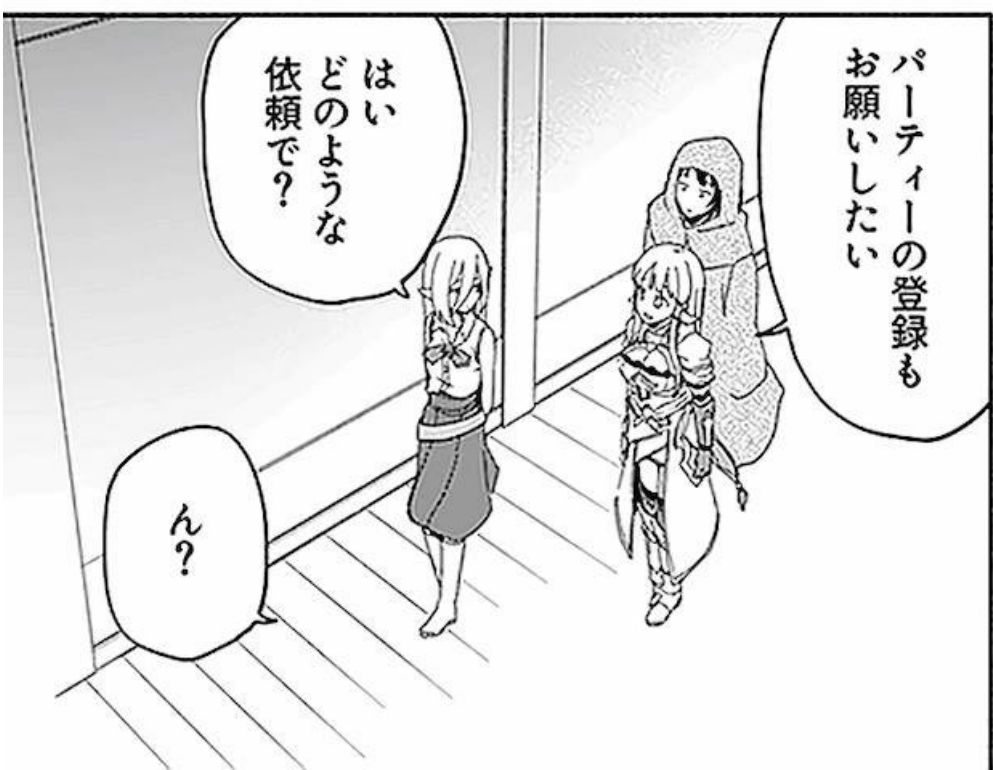
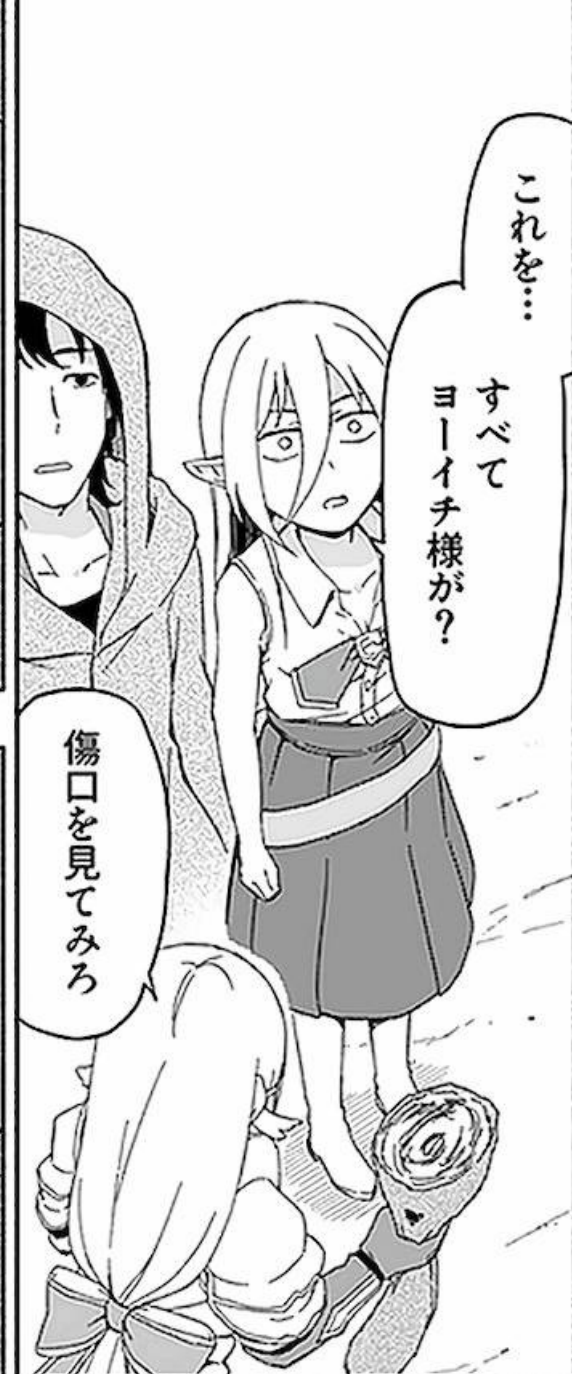
やったー

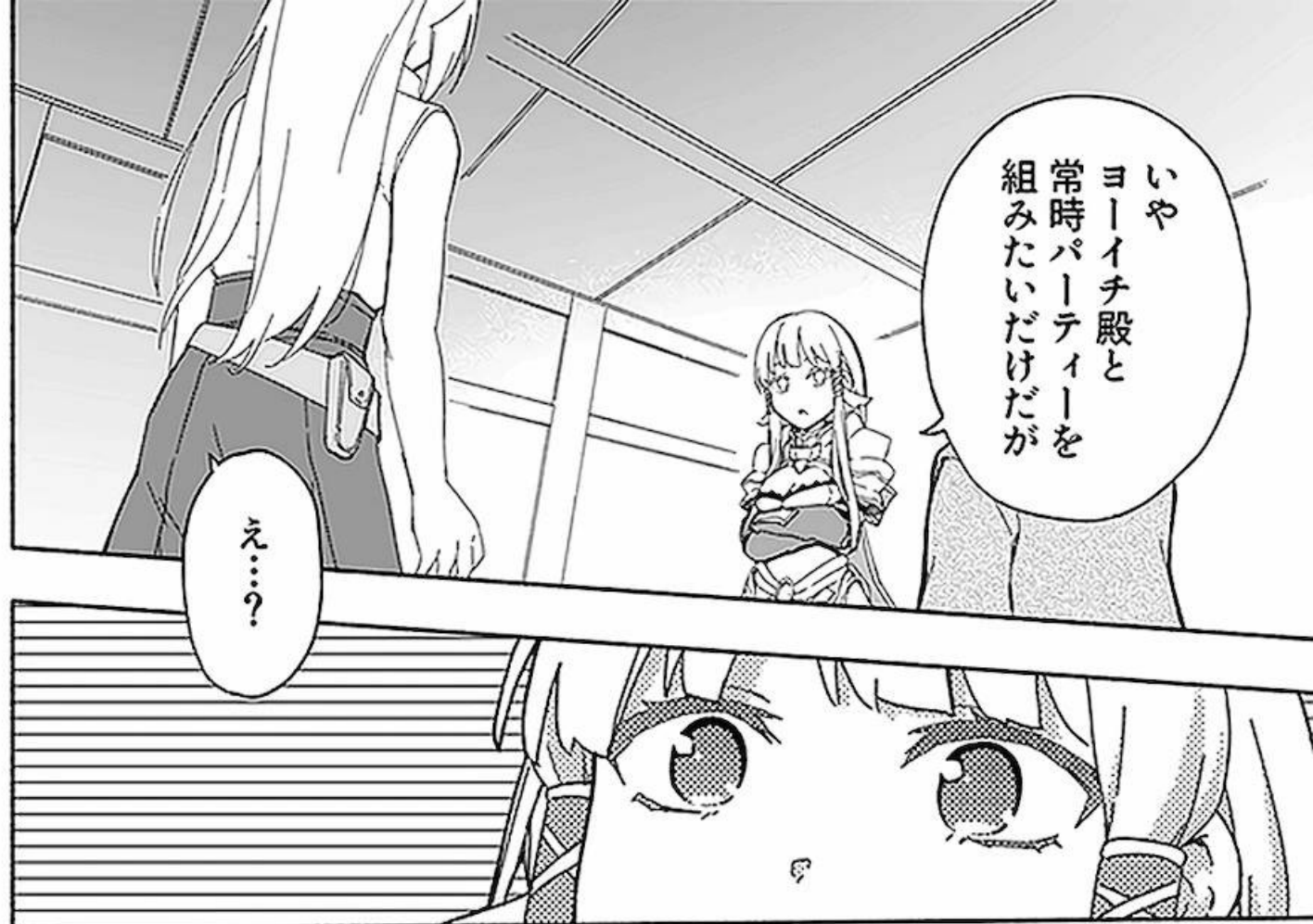
ほかに何か
やっつくこと
あるっけ？

うーむ
そうだな…

あ







アラリーナちゃんかわええ
なにこの表情
初めて見るんですけどお
つてかアラリーナちゃんに
こんな表情させるこのおっさん
いったい何者よ
生気のない

失礼いたしました

常時パーティ
ですね

どっからどう見て
ただの冴えないおっさん
いったい何がアラリーナちゃんを
そうさせるの？

ねえあんたいったい何者よ
教えてねえおねーさんに
根掘り葉掘り教えなさいよ
あゝ〜気になる〜

しかし私はプロの受付嬢
表情には出さない

パーティー名は
どうしようか？

ヨイキビの
決めていいぞ

んー

じゃあ
トコロテンで

…なんだ
それは？

いや
まあ
なんとなく

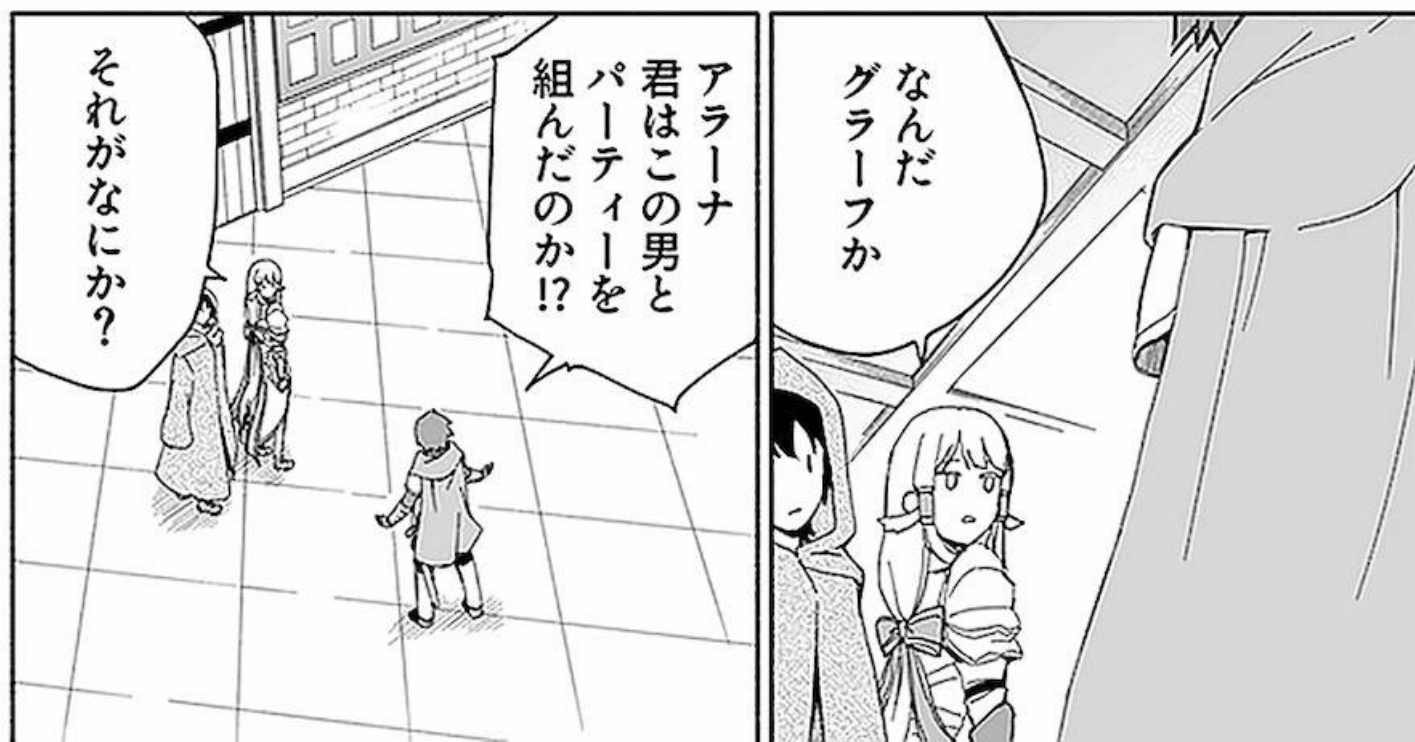
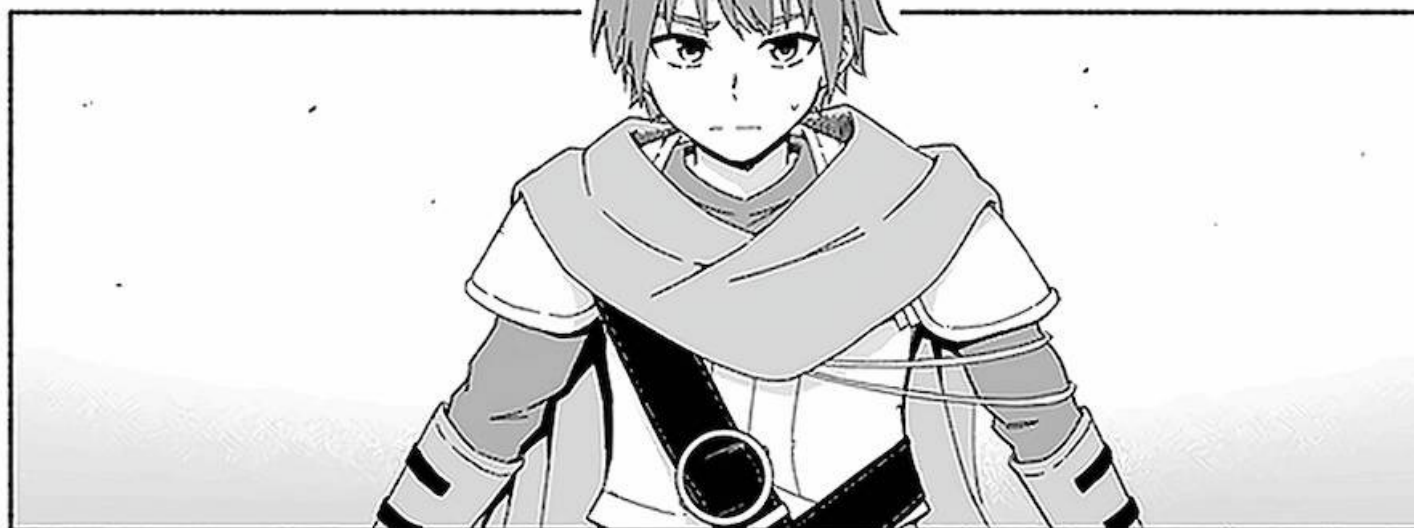
ちよっとね…

トコロテン…
トコロテン…

うむおもしろい
響きだな！

それでいこう

Gランクパーティー
『トコロテン』結成





ボクと勝負しろ!!

ボクが勝ったら
アラリーナとの
パーティーは解消して
二度と彼女の前に
現われるな!!

テンプレだなあ…

完膚なきまでに
叩きのめして
いいぞヨーイチ殿

うーん

まあいいけど
どこで勝負すんの？

ついてこい!!

闘技場

冒険者ギルドの
訓練場に設置された
魔導施設

高精度のVR
みたいなもんか？

使用者の分身体同士で
戦う機能を備えており
この中では
たとえ死んでも
本体に影響はない



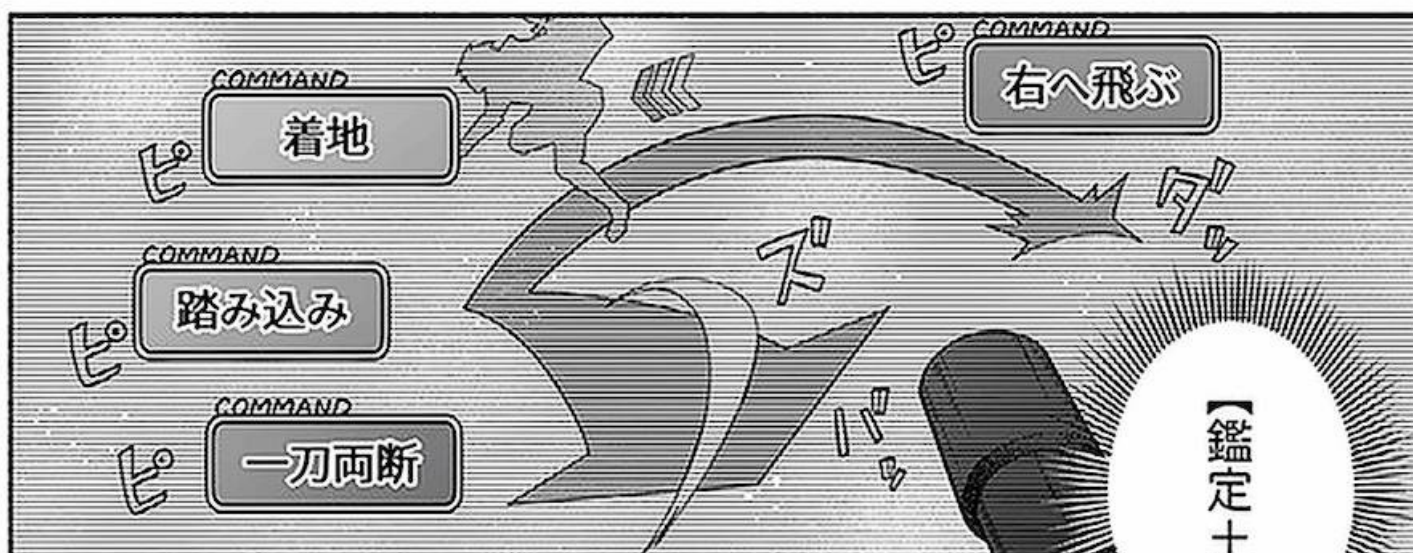
構え!

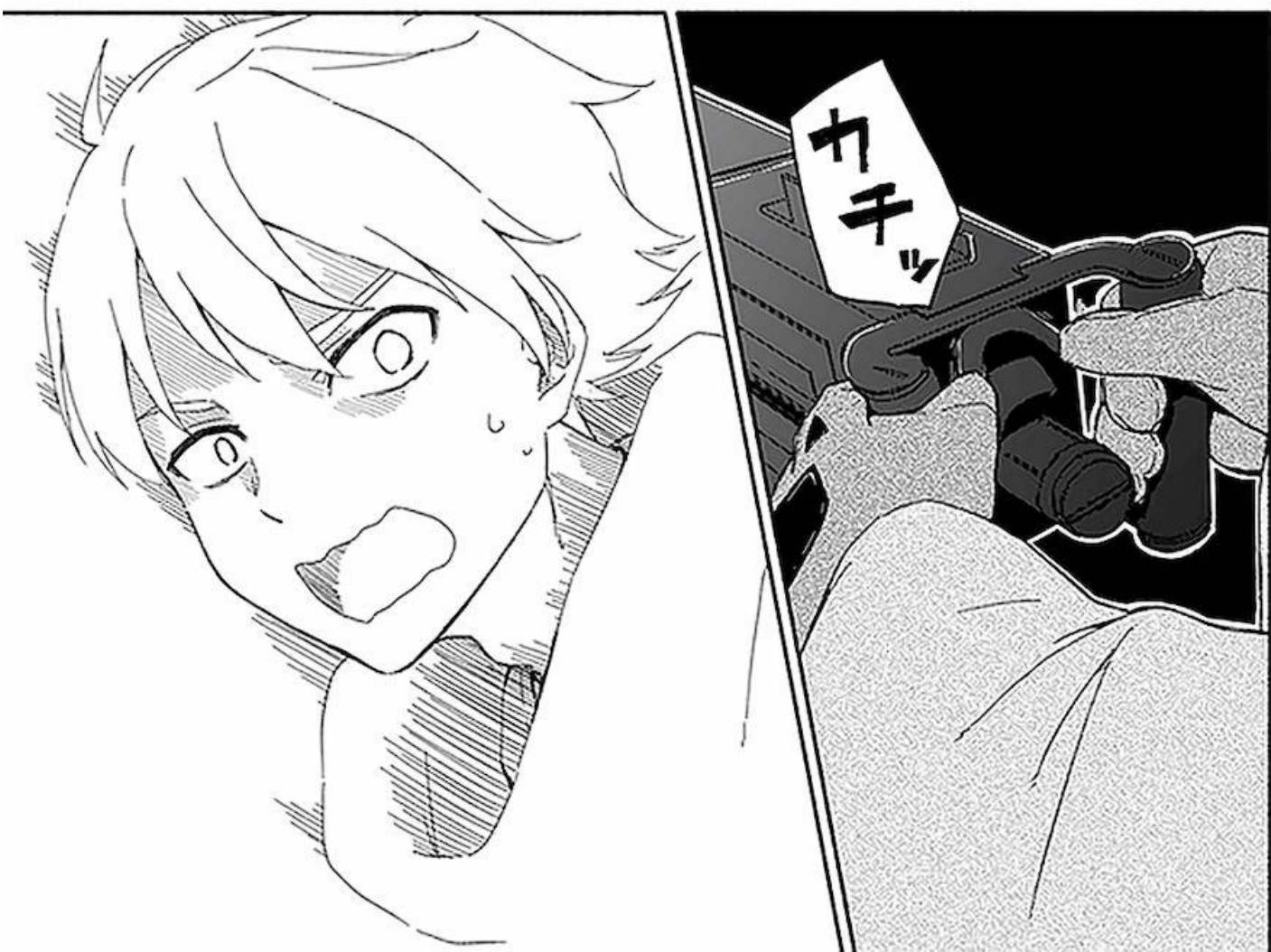


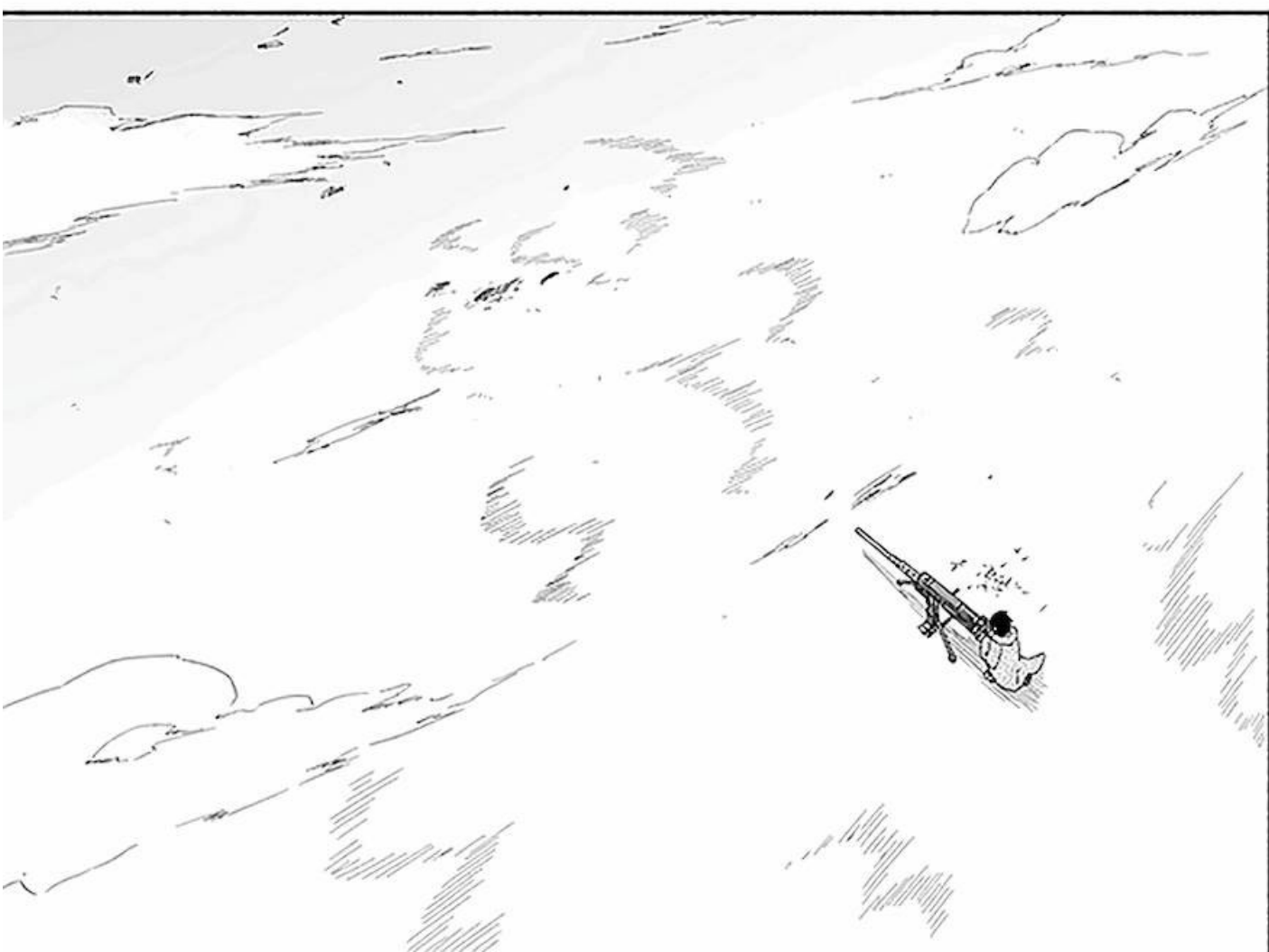
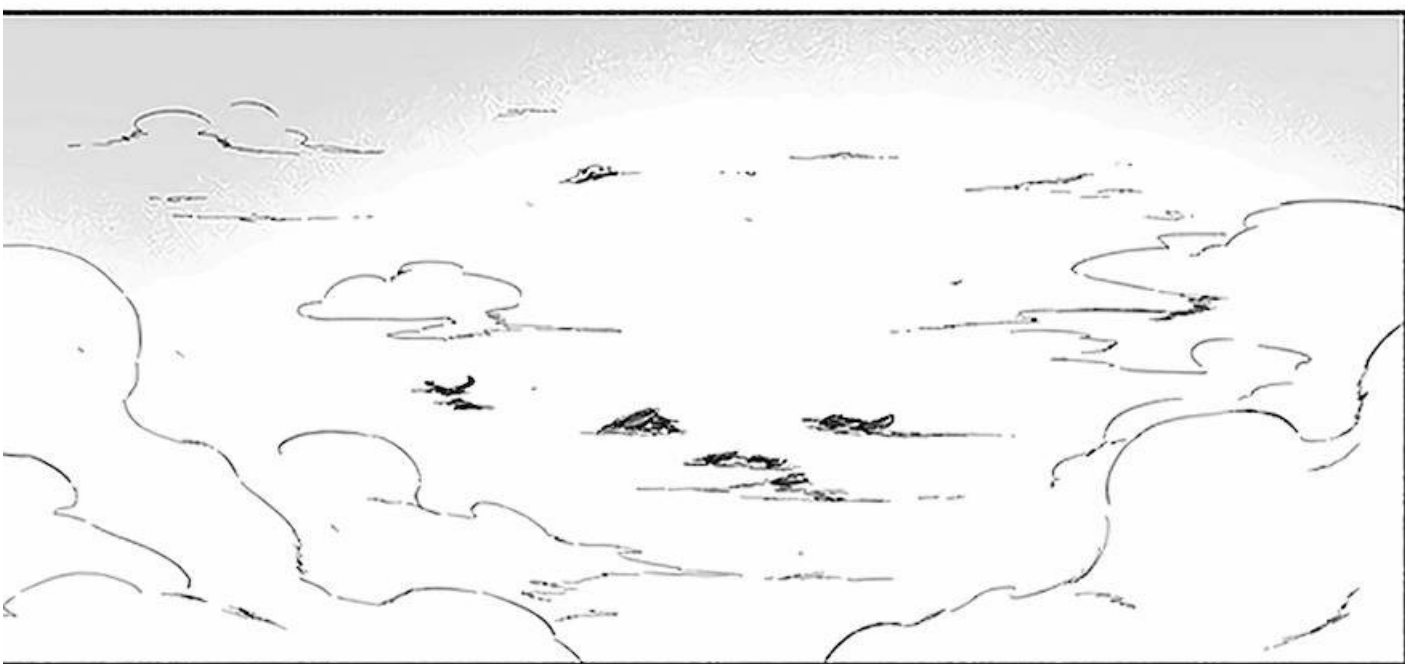
なんだ
あの武器は...?

何かの
魔道具?

あの手端から
魔術を出すのか?











グラーフちゃんが
ご迷惑
おかけすました



グラーフの
パーティー
「赤い閃光」の
魔術士メリルだ

へえ



えーっと
どちらさん？

ああ君か



で
なんの用かな？

私ら田舎さ帰る
ことにしたんす

その前にひと言
お詫びをと…



ヨーイチさあが
怖え怖えって
宿の布団に
くるまって

あらまあ



そうか
グラーフは
どうしている？

グラーフちゃんは…



いいえ
田舎じゃ
私らでもそれなりに
やってげると思うんで

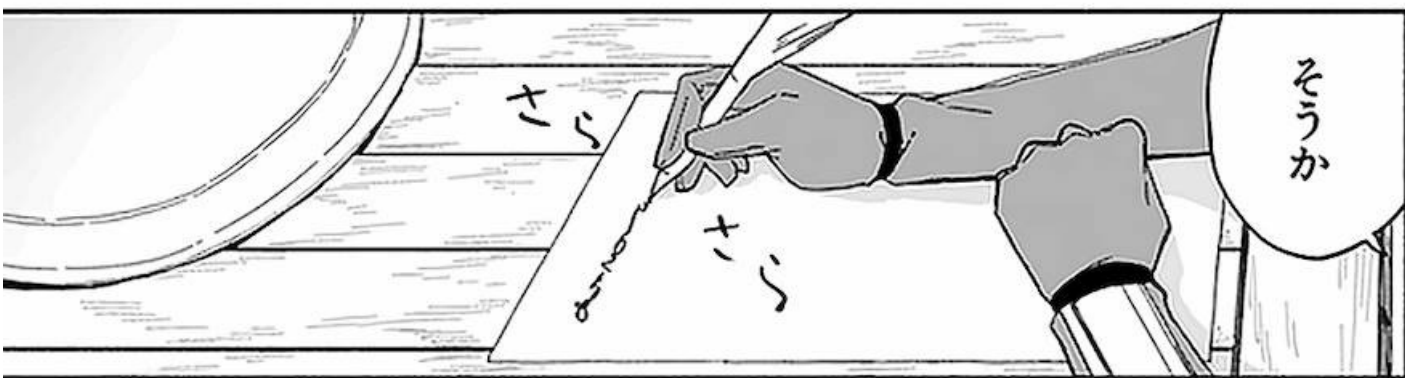
ふむ

では郷里に帰って
冒険者稼業からは
足を洗うのか？



郷里に一番近い
ギルドはどこだ？

へい
ベレスタ支部だす



そうか

さ
し



ではこれを
ベレスタ支部に

かしこまり
ました

あの
アラナー様……？





ギルドマスターに
言伝ことづてをな

辺境の優秀な
冒険者が
そちらへ行くので
よしなにと

へっ

優秀だなんて
とんでもねえ!

私らヨーイチさあが
怖くて逃げ帰るような
臆病者ですし…



はあ…

メリルよ

冒険者にとって
もっとも大事な
ことはなにか?

え…つと



一番は
生き延びることだ

それも
大事だがな

強さ？

あ...



胸を張って
帰るといい

これは
辺境で生き抜いた
冒険者たちの
凱旋だ



う...

ぎゅ

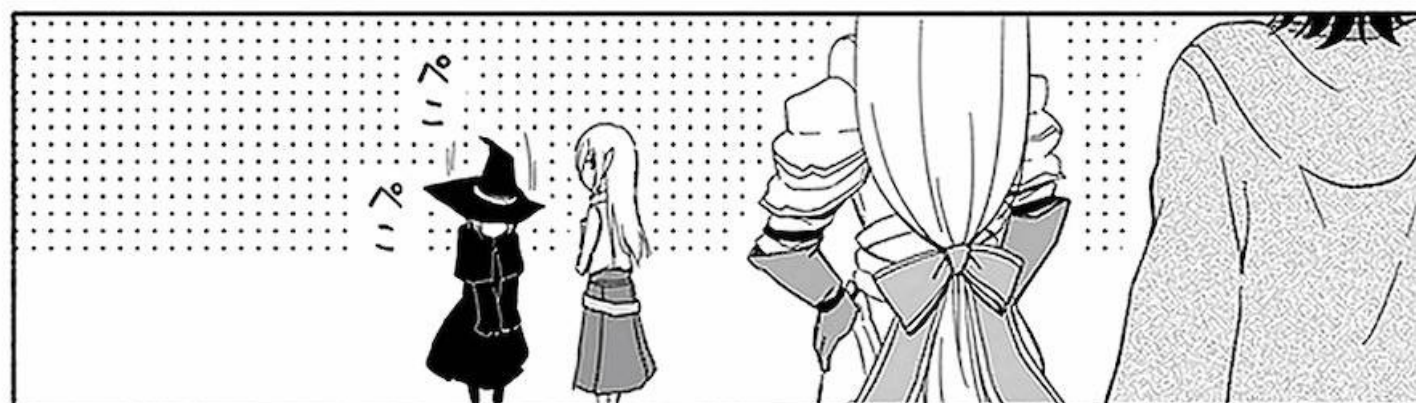


うぐ…

ありがと…

ごめします…

っ
っ



いっ
いっ

俺空気
だったな…



冒険者歴1日未満の
藤の堂さんが何を言っても
説得力はないので
それで正解です



査定が
終わりましたので
報酬をお支払いします

お待たせ
いたしました

おお!



いろいろ
ハイテクなのに
通貨は硬貨だけ
なんだなあ

ほお

白金貨2枚近い
額になったか

日本円にして
200万円ほどの
金額ですねえ



それでは
ヨーイチ様
ランクアップの
手続きを行ないますので
ギルドカードの提出を
お願いします

はい

キュー...



試験で
何するんです？

試験用に
用意された依頼を
こなしていただきます

その際試験官が
同行しさまざまな
行動を評価します

なるほど

日程が
決まりましたら
お伝えしますので

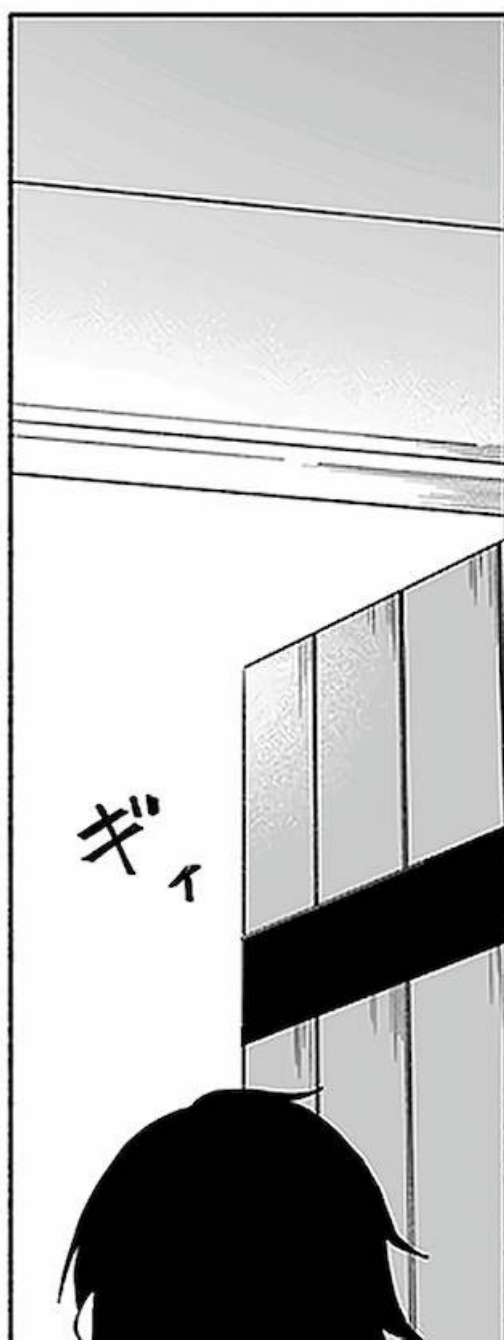
2〜3日に一度は
ギルドへお越し
くださいませ

わかりました

さて――

財布の小銭入れには
ちよつと多いか

こういうの
ファンタジー物だと
巾着みたいなのに
入れてたような……

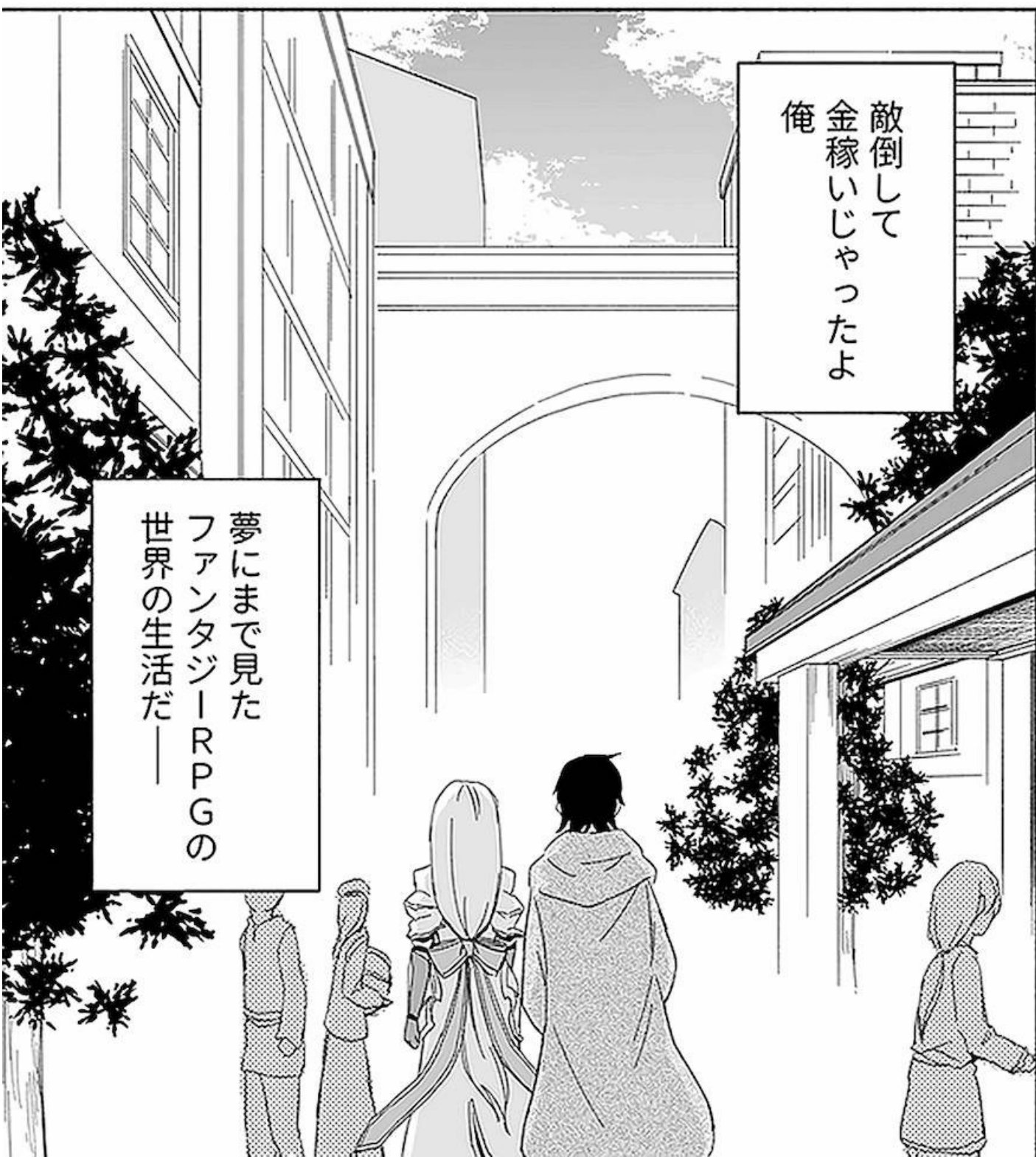


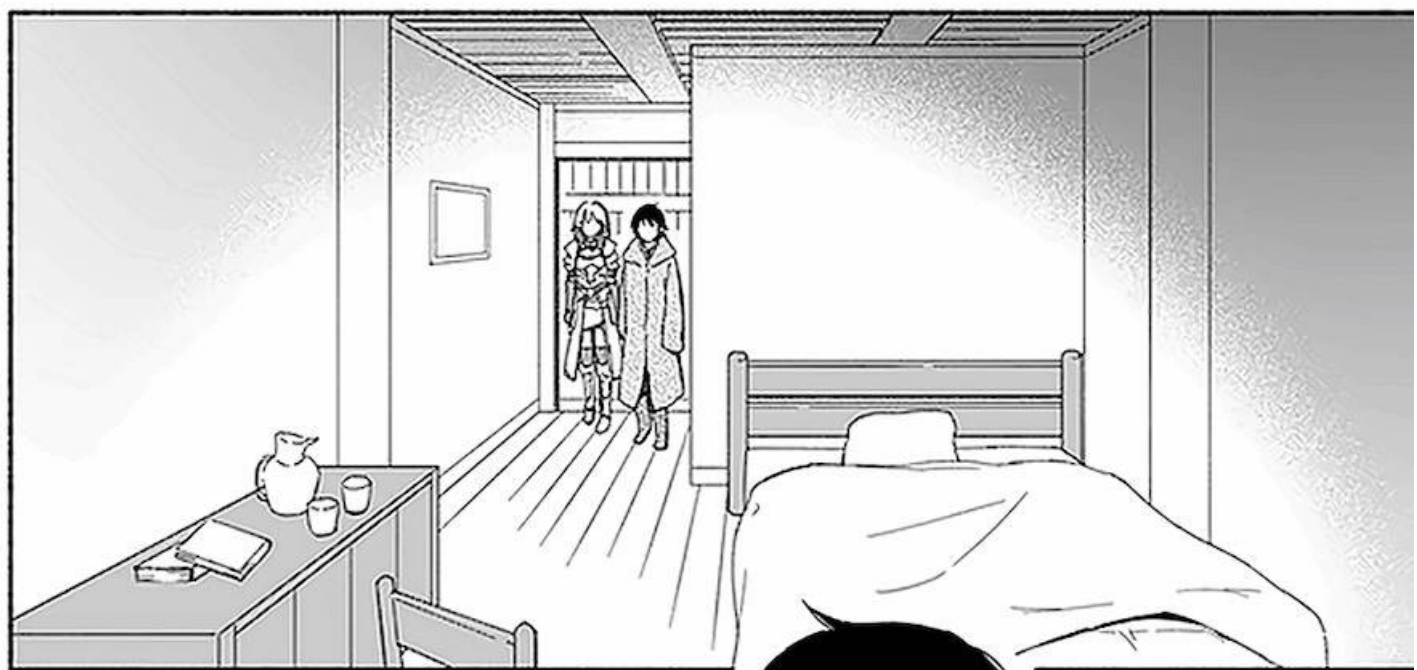
はあ
—



敵倒して
金稼いじやったよ
俺

夢にまで見た
ファンタジーRPGの
世界の生活だ—







あいや
そのことで
ヨーチ殿に
相談があるのだが…

何？



じゃあ今後の
活動拠点はここ？

それとも
もうひと部屋取った
ほうがいいかな？



もじ

もじ



寝泊まりは
ヨーチ殿の
部屋でできない
だろうか？

あの
ふかふかのベッドと
広い風呂が魅力的
なのだ…



それは
もちろん
構わないけど

この宿って
寝心地とか
悪いの？

えっと…
そういうわけでは
ないのだが…

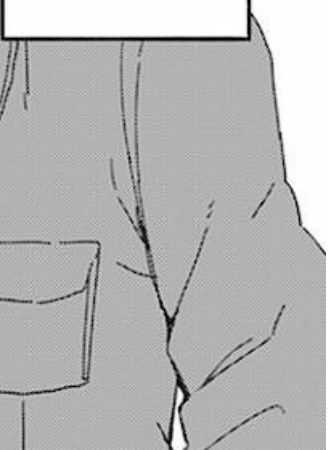
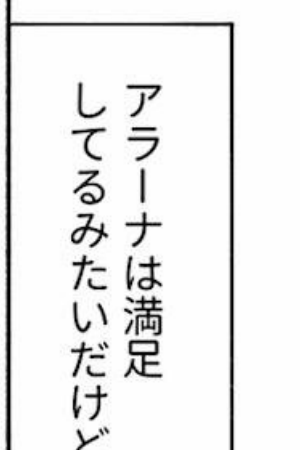
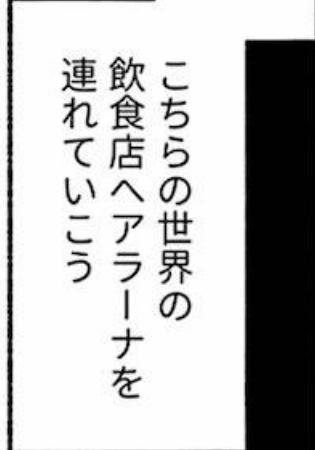
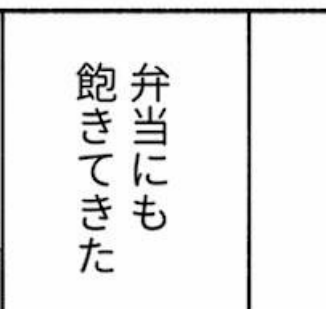
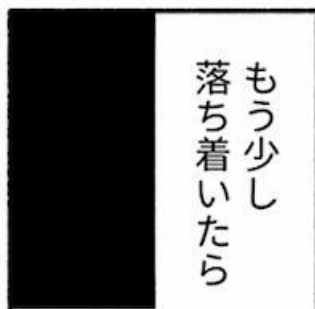
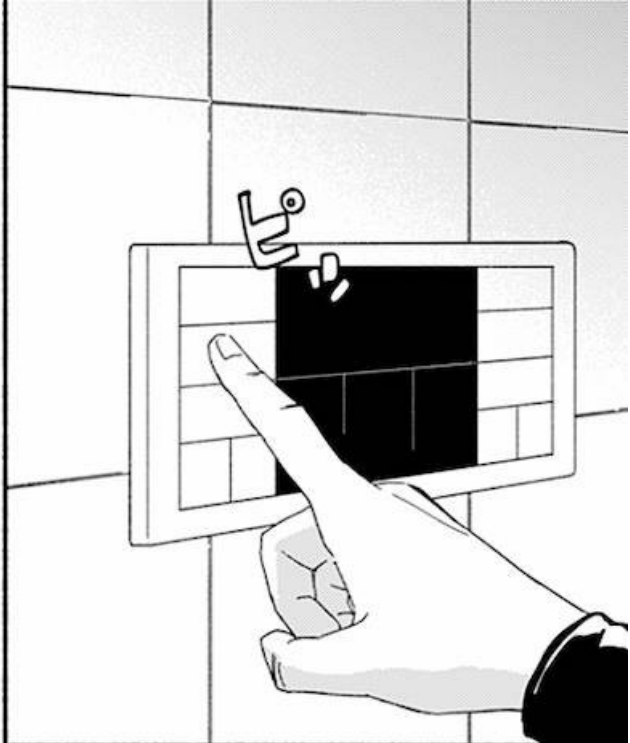


【帰還十】

グランコート
2503号室

結局また
戻ってきたなあ





それに
あちらの世界の
飲食店も
開拓したい

ピピ
ピピ
ピピ

アラリーナ
お風呂
先どうぞ

あ…

えっと

その…
一緒に…

あうん

そうだね

そうしよっか





はあ

はあ



このヌルヌルは…
石鹸のとは
違うよねえ

フキッ

クキョ

ヨーチ殿こそ
先端から何やら
出ているぞ



んっんっ

どうだ
ヨーチどの：
気持ちいいか？

うん

アラリーナの中
すごく締まって
気持ちいいよ

いつでも
出しているの
だからな

んっくっ



パ
チ
ュ

パ
チ
ュ

パ
チ
ュ

あはあっ

んんっ

ズッ

だめっ

私が先に
イキそう…

ズッ

ズッ

大丈夫俺も
そろそろ…

はぁ

はぁ







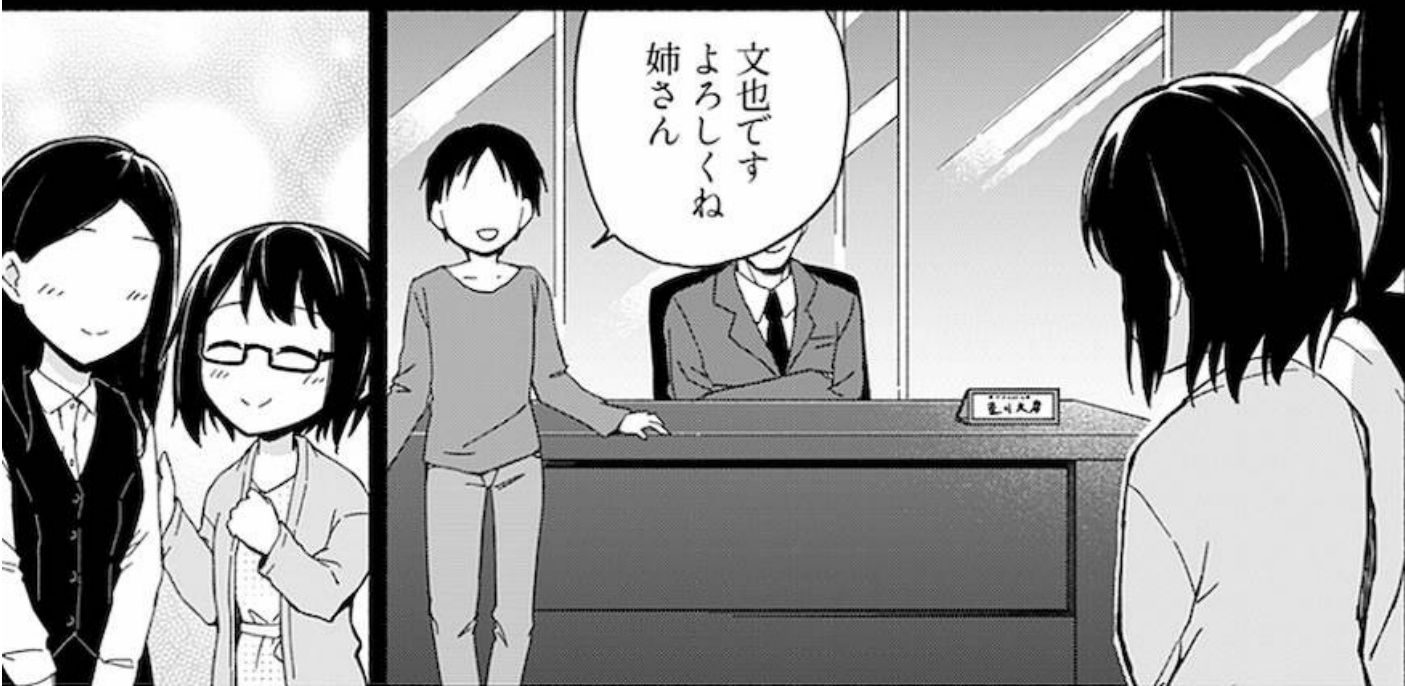
え？

実里ちゃん——



ぎゅ

…ごめんねこ





やめ？…
文也

…や



ああ姉さん!!
心から
愛してるよ!!

姉さんは
僕だけのモノだ!!

僕だけのために
生きてよ!!









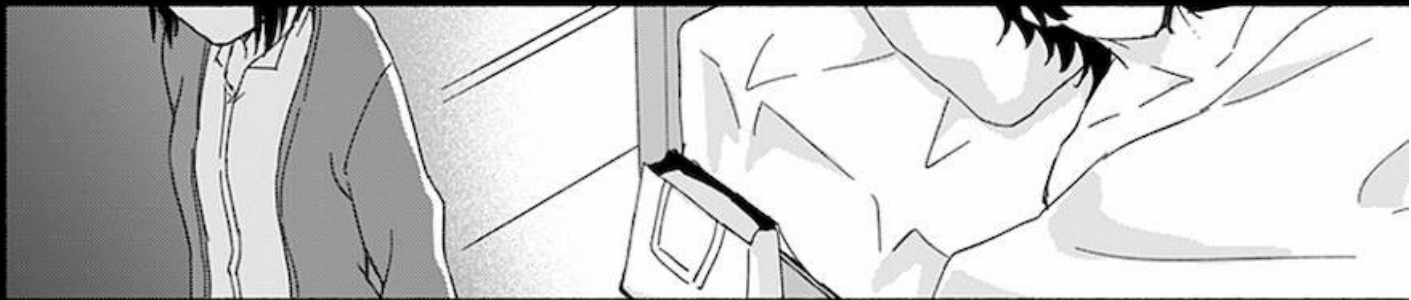
いっそ全部
打ち明けて
みようか

陽一さんなら
受け止めて
くれるかも
しれない





でも義弟に
知られたら
陽一さんが
どうなるか—



メッセージを
再生します

もしもし
アカリちゃん

そろそろお店
出られないかな？

星川



—やだ

やだやだやだやだ
やだやだやだやだ

やだ…

やだ
やだ…

義弟の顔は
見たくない

もう
他の男の人に
抱かれたくない

実里ちゃん!?

もう
この人のこと以外
考えられない——





なんだ
ヨーチ殿
先ほどから
煮えきらの態度
ではないか

いやまあ
その…ねえ



見捨てるという
選択肢はないと
思うのだが？

その娘は
娼館から逃げて
ヨーチ殿を
頼ってきたのだろうか？



そりゃそう
なんだけどもさあ
俺と実里ちゃん
はその…

べつにふたりが
どういう関係でも
私は気にしないぞ

あの!!

迷惑なのは
わかっています

でも
陽一さんと
一緒に
いたいんです

お願いします

なんでもします

ちょっと
実里ちゃん!?

愛人でもなんでも
いいですから
私をここに
置いてください

ヨイチ殿
ここまで
切実な叫びを
拒絶するのにか?

いやでも…
そのアラーナは
いいの…?

私がどうこう
ではなく
ヨイチ殿が
どうしたいか
だな

実里ちゃんを
見捨てたくないよ



俺は…



あーうん
そうかもね



というか
最初から気持ちには
決まっていたのでは
ないかな



なら
決まりじゃないか

ふふん
べつに礼を
言われるような
ことではない



ありがとう
アラアーナ



実里ちゃんさえ
よければ
いつまでも
いていいよ

ようこそ



うん
まあ聞いての
とおりでけど

いいんですか？



ありがとう
ございます!!





ふむ

あれっ？
でもアラーナは
実里ちゃんの
言ってること
理解できるんだよね？



お気づきに
なりましたか！

そっか…
【言語理解+】！



意思疎通の
魔道具だ

おそらくは
これの
おかげかな



意思を直接
汲み取るので
未知の言語にも
対応できるという
わけです

異世界では意思疎通の
魔道具を使って会話を
することが多いのですが









だよねえ!

行ってみたいです

ということは
もしかして
異世界…



はい…

じゃあさっきの説明で
だいたいわかって
もらえた感じ?



行きたいと
いうのであれば
連れて行って
やればよい



いや
でもなあ…

実里ちゃんは
ただの一般人だし
向こうの世界は
危険だよなあ…



私とヨーチ殿で
守ってやればよい
だけのことだからな

ううん…

まあとりあえず
実里ちゃんの
異世界行きはもう少し
考えるとして



じゃあそれを
用意するのが
先決だな



アラリーナ
その意思疎通の魔道具
ってのは簡単に
手に入るものなの？

多少値は張るが
道具屋でもギルドでも
売っているぞ





久しぶりに会ったのだろうか？
なら今夜は私に遠慮せず
ふたりでゆっくり
すごすといい



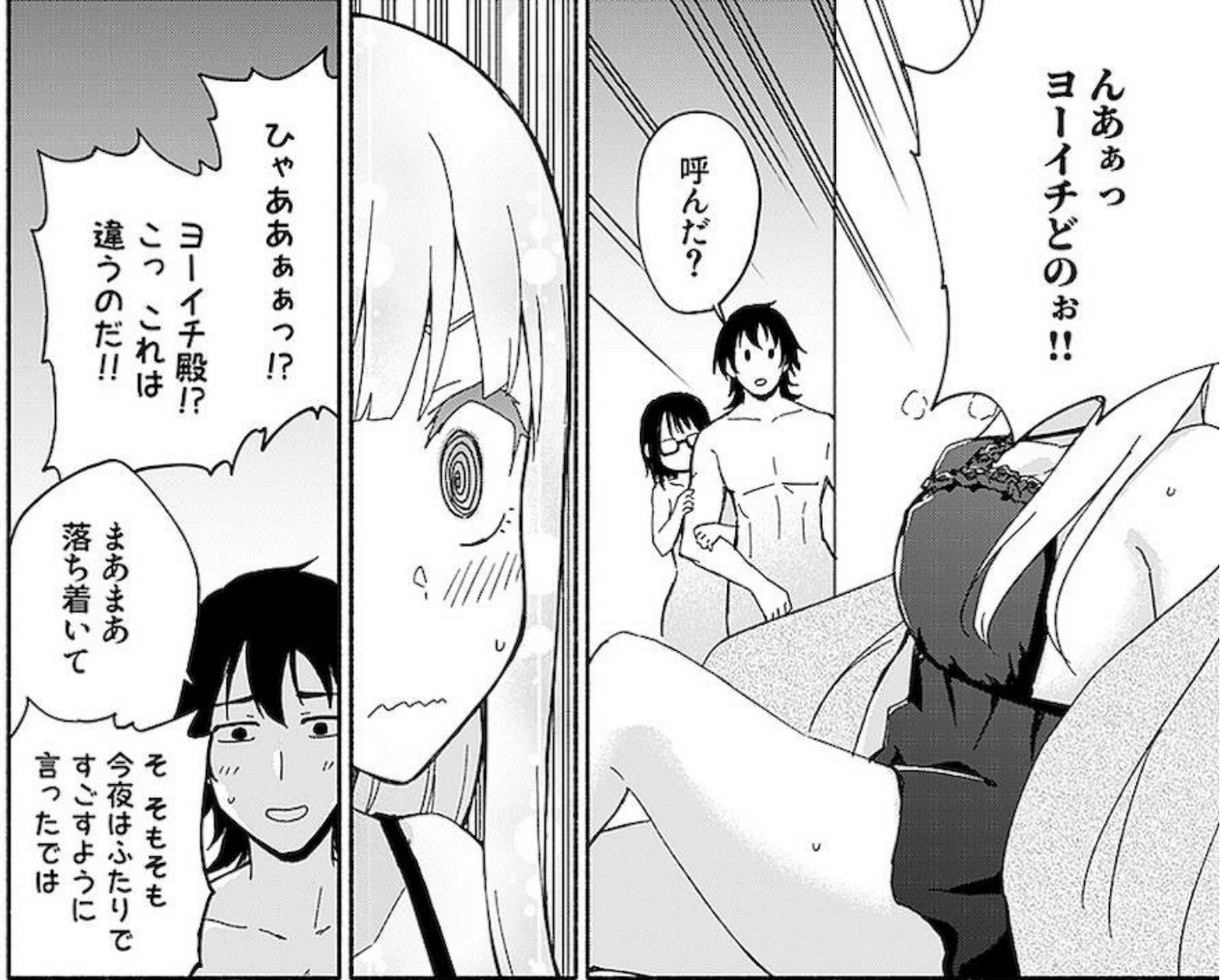
う…あっ

んっ…

んっ…

ちゅっ







いいの
アラナさんも
気持ちよくなってる？

!?

ミサトどの
それっ…
だめえ…



あっ…やあ…



あ…ごめ…
ミサト…

ゾクゾク



あああっ!!

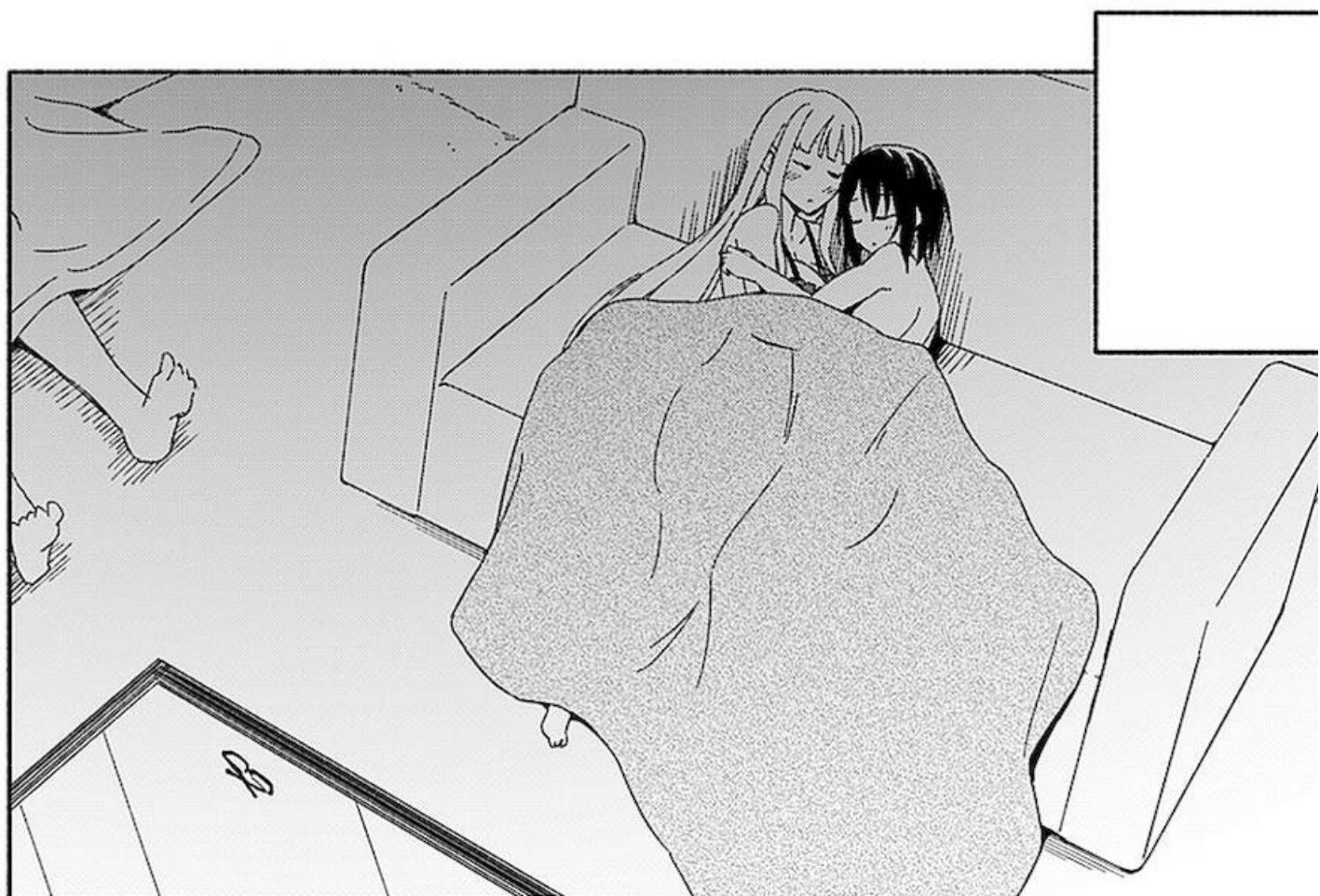
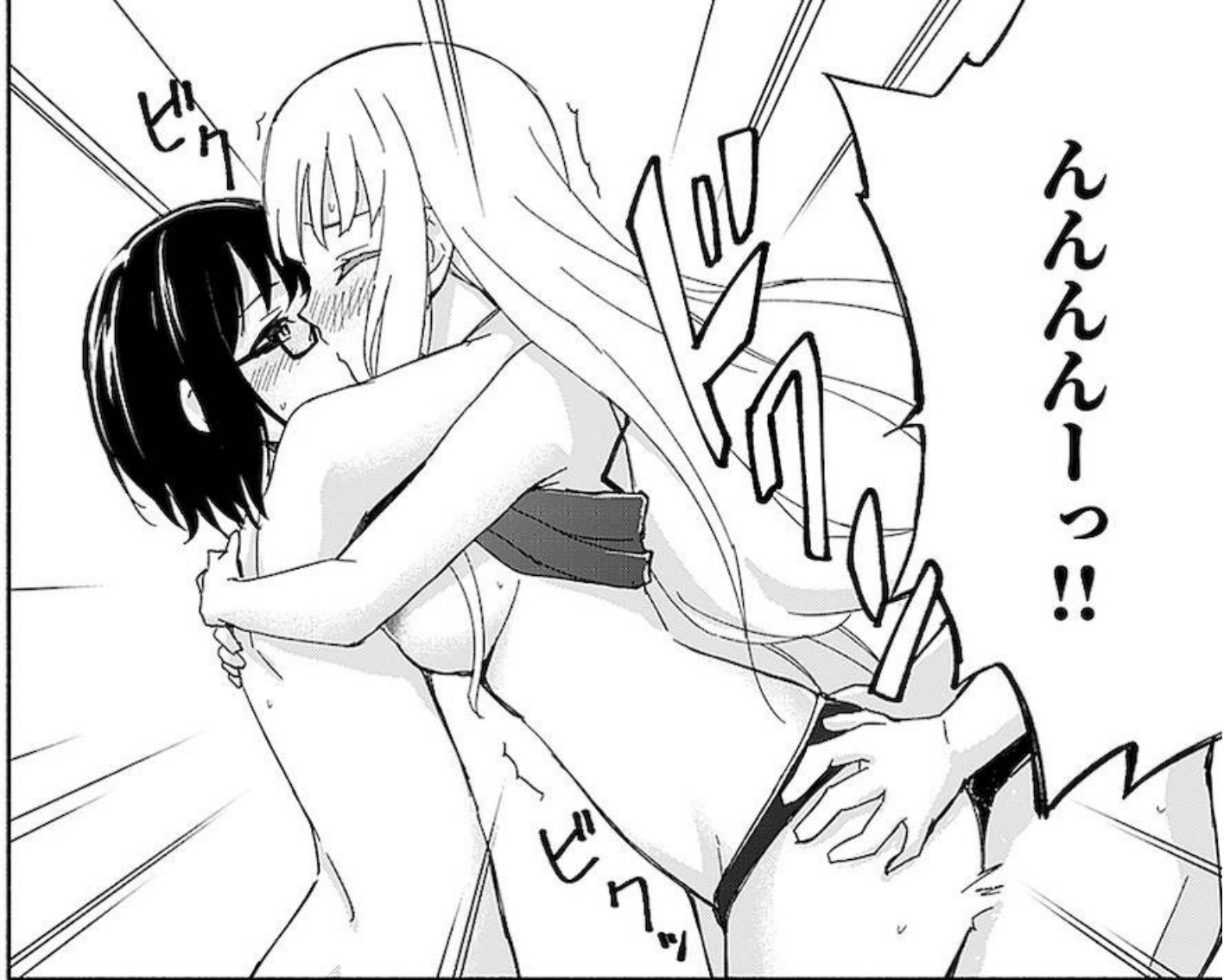
奥ズンズン
突かれて

そこ
んんーっ

イツちやうつうつうつうつ!!



こっちも…









うわあ!

ホッ
ヨ一イチ殿

陽一?
どうしたの?



その...
今はあれなんで
出直して
もらおうかと...

ヨ一イチ殿
来客か?



我々がいて
都合が悪いなら
異世界に行く
っておくが?

あい...

ふあ

陽一?
誰かいるの?



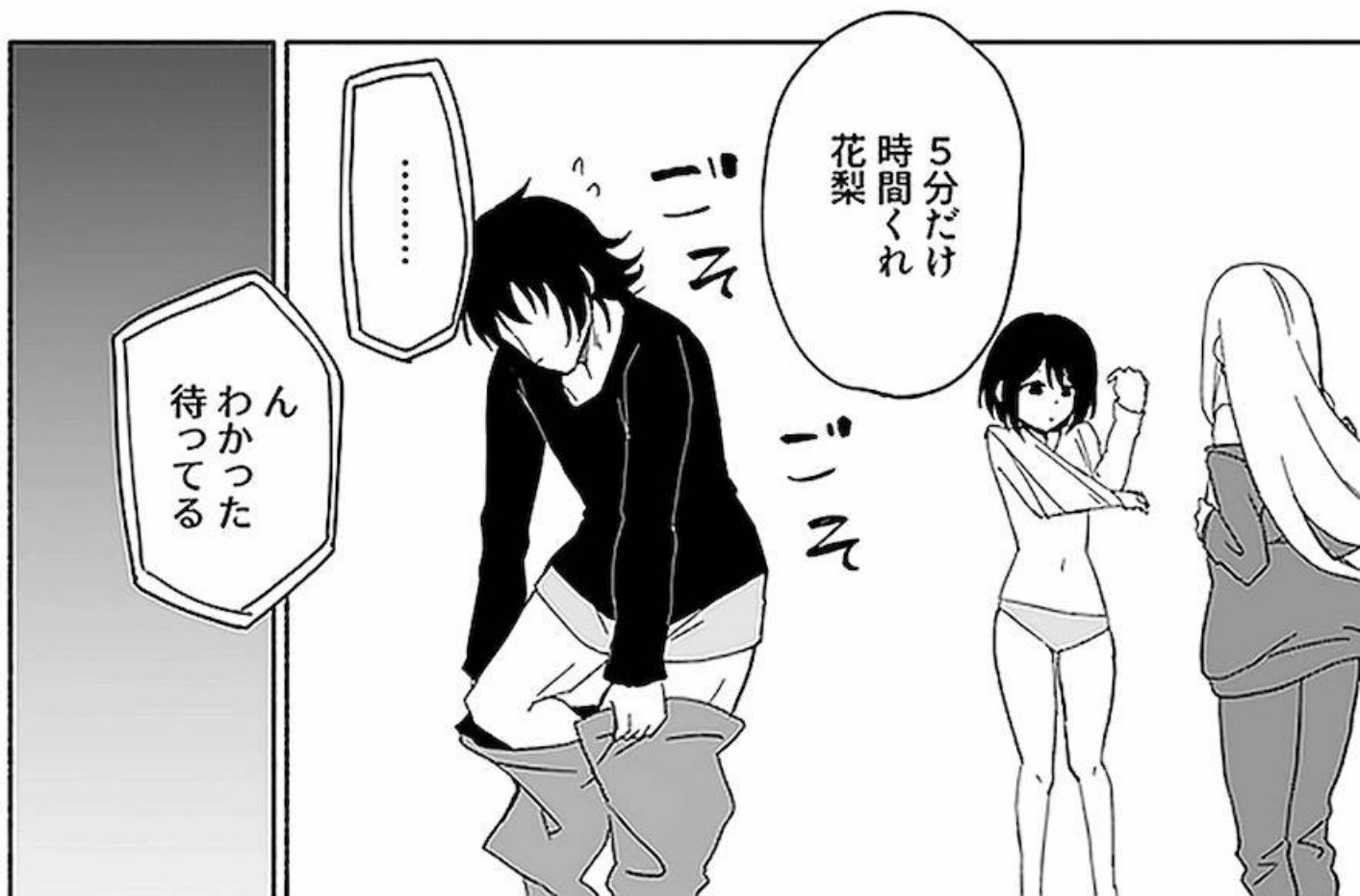
あ待って

あの
取り込んでるようだから
あたし帰るね



異世界のこと

花梨にも話す時が
来たのかもしれない



5分だけ
時間くれ
花梨

ゴッゴッ

ゴッゴッ

.....

んわかつた
待ってる

花梨にこれまでのことを話した

あたしも連れてけー!!

えええ…

あんたにラノベ教えたの誰だと思ってるのよ

そういえばそうだった

まったくあたしより先に異世界行ってんじゃないわよ陽一のくせに!

なんだよそれ



意思疎通の魔道具



何言ってるの
こんなの渡されたら
信じるしかない
でしょうが



てか
いくらなんでも
すんなり
信じすぎじゃね？



これから
よろしくね

アラリーナちゃん
実里ちゃん

呼び捨てで
いいぞ
カリン殿

私も
実里で

オツケ

じゃああたしも
呼び捨てでね



あの…
実里ちゃん…？
何が不満が？

っーん

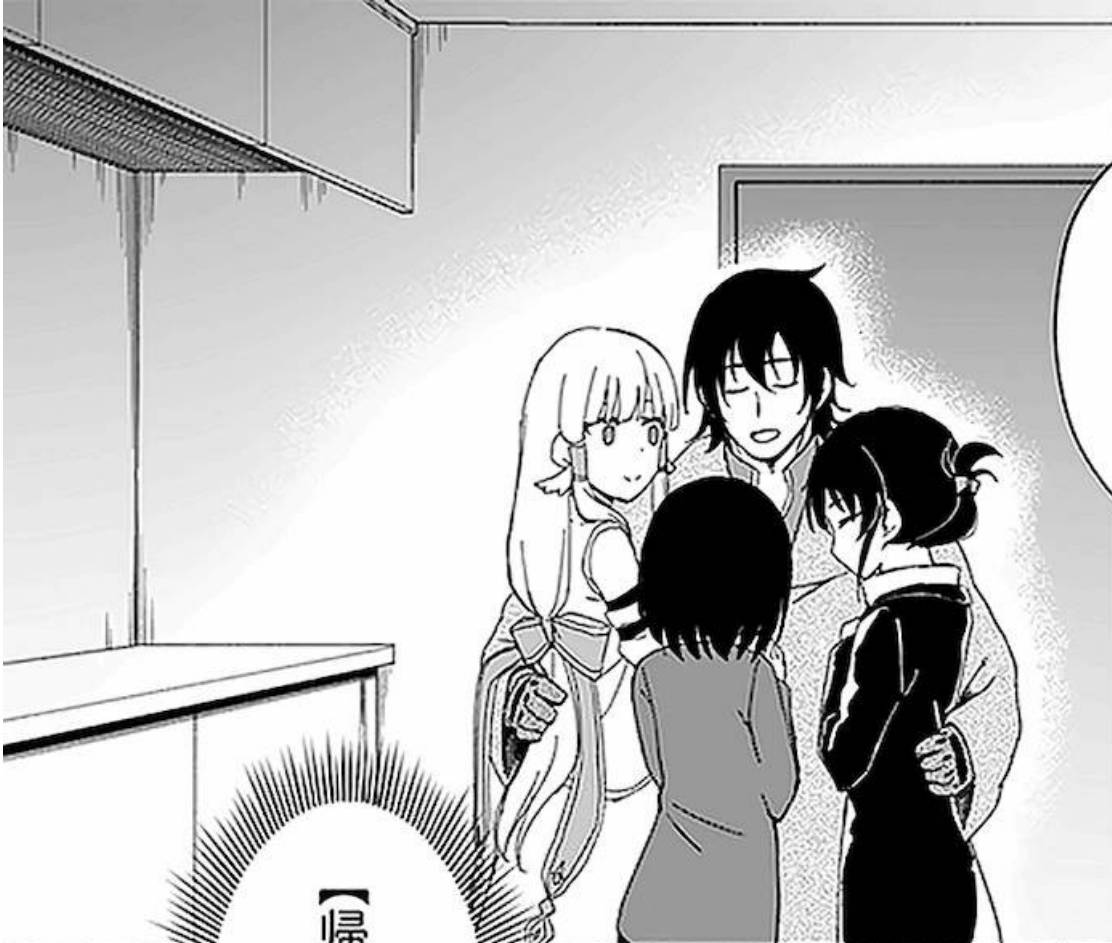


でまあ
花梨と実里ちゃんを
異世界に連れていくか
だけど…


どうしようか
アラリーナ？



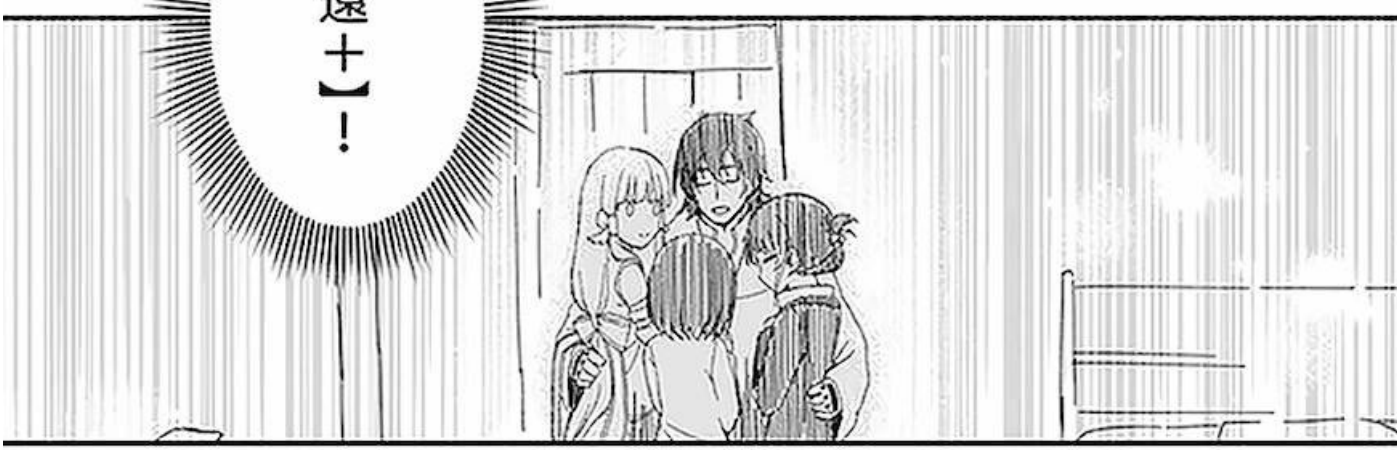




よし
じゃあ異世界へ
行くよ

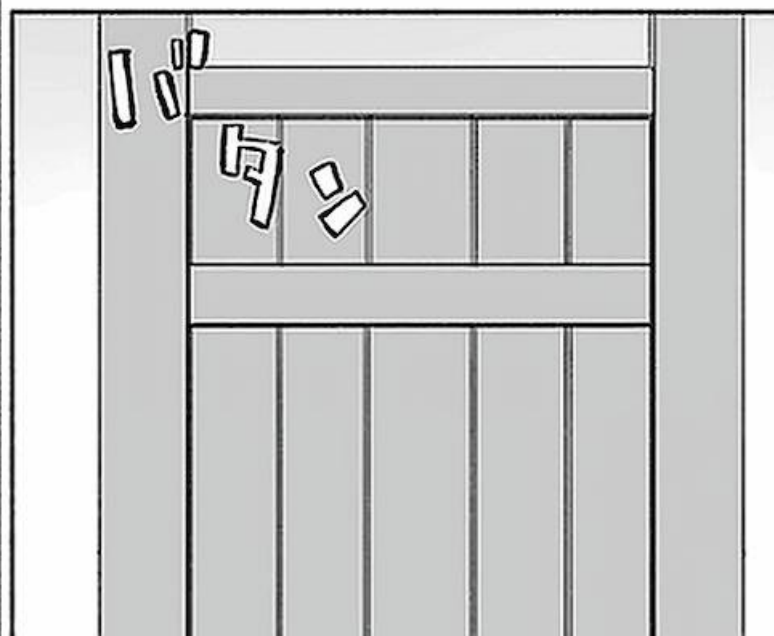


【帰還+】！



ようこそ
異世界へ

っっていうても
部屋の中じゃ
実感ないかな？



魔力酔いだな

魔力酔い？

魔力が原因で起こる
体調不良の総称だ

魔力酔いは
強い魔力にあてられた時
一気に魔力を消費した時
などになります

今回はまったく魔力がない
場所から魔力に満ちた場所
に行ったので起こりました

ふたりとも
大丈夫？

んもう
大丈夫…

あの
陽一さんは
平気なんですか？

いや平気というか
なんと…

どうもヨーイチ殿は
魔力を感じることが
一切ないようだな











初歩の魔法とはいえ
一度見ただけで
発現するとは



しかし
なかなかのものだな
ふたりとも



じゃあ
つまり…

特にミサトの〈灯火〉は
あと数回練習すれば
十分実用に耐える
ものになるだろう



ミサトには
魔法使いとしての
才能があると
いうことだな



あたしは？



体内を巡る魔力を強く感知できる者は武術系のスキルに優れていることが多いのだ

カリンはそっちではないかな

武術ね...

ねえ陽一 あたしのあれ出してよ

あ...おう



【無限収納+】

弓なんて どう?



おおカリンは弓術の心得があるのか

大学まで やってたのよね アーチェリー



ヨーチ殿
いい加減
諦めたらどうだ？

魔力がなければ
魔法は使えんぞ？

いやでもな
俺の身体の中には
管理人さんから
拝借した魔力が…

むしろその管理者…
神のごとき魔力が
強すぎて
まわりの弱い魔力を
感知できないのでは？

強すぎるがゆえに
使いこなせない
というのでは
ないだろうか

うわー
ありそうだわ
それ

今度会ったら
詳しく問い詰めて
くれよう

まあ
魔術士ギルドに
行ってみよう

魔導書でなら
魔術を使えるかも
しれないから

そうだよなあ
使えるといいなあ





しかし
魔導書の作成に
失敗した

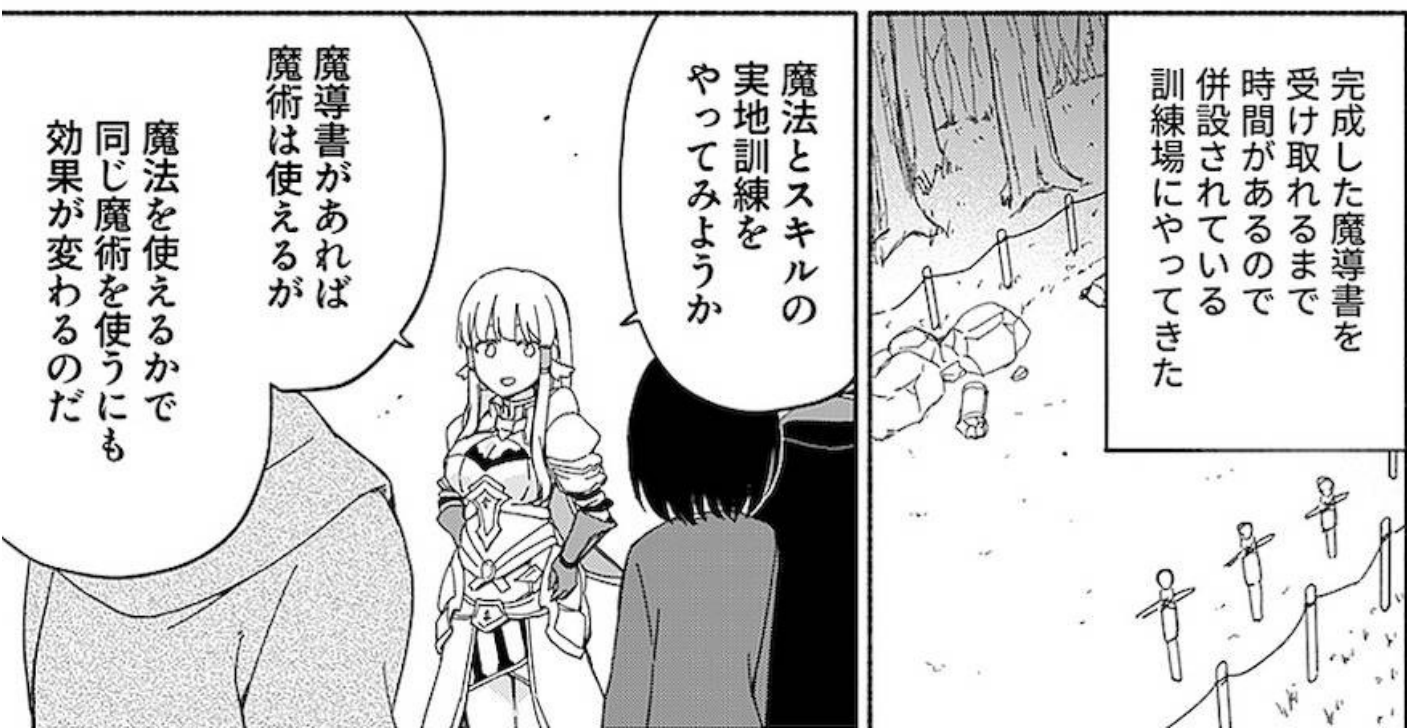


えっ…じゃあ
つまり俺は…

魔術も使えない…
ということだな…

そんな…

ぽん



完成した魔導書を
受け取れるまで
時間があるので
併設されている
訓練場にやってきた

魔法とスキルの
実地訓練を
やってみようか

魔導書があれば
魔術は使えるが

魔法を使えるかで
同じ魔術を使うにも
効果が変わるのだ



周囲の魔力を
感知しそれを
操作して

“水を生み出す”
というふう
に強くイメージすると…



お願いします

簡単な魔法を
使うので真似
してみてください



私は魔法が得意
ではないので
拙いものだが…

へえ…



—とこのように
水球が現われる
わけだ



ミサト
やってみてくれ

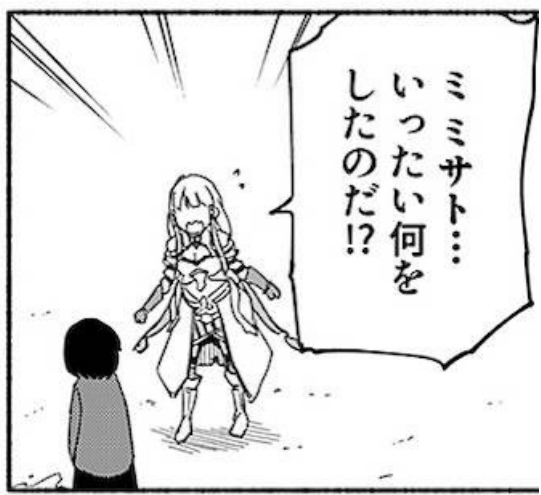
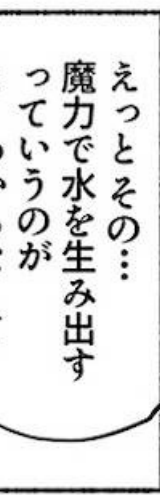
あ…うん


ホ



ゴ

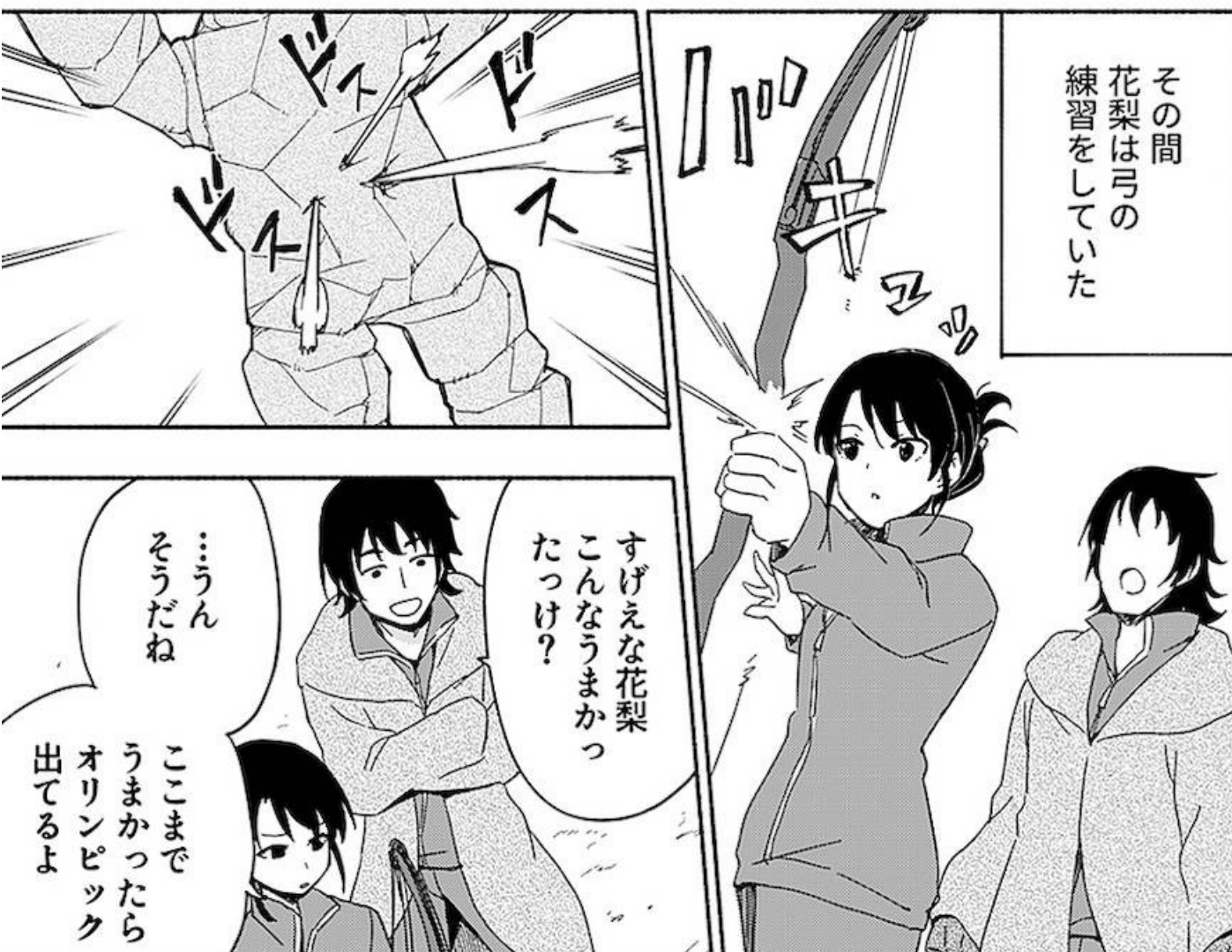






それから実里は
アラリーナに
言われるがままに
魔法を習得し

時には異世界に
ない科学知識を
魔法に応用して
周囲を驚かせた



その間
花梨は弓の
練習をしていた

すごいな花梨
こんなうまかつ
たっけ？

……うん
そうだね

ここまで
うまかったら
オリンピック
出てるよ

これが
異世界補正って
やつなのかな

あー
どうなんだろ

なんか変なのよ
リリーサーなしの
方がしっくりくるし
手の痛みもすぐに
引いちゃうし



魔術より
魔力消費が多い
魔法をあれだけ使って
平気でいられるとは…



星川実里

【魔力感知・甲】

異世界を訪れた際
世界に漂う魔力に
さらされたことで習得

【魔力操作・甲】

【魔力感知】習得後
アラリーナ・サリスの
手ほどきにより習得

【魔法の真髄】

【基礎魔法】習得後
いまだ解明されていない
世界の理を元に魔法を
発動し習得したスキル

【健康体+】

習得経緯を解析中……

本宮花梨

【魔力感知・乙】

異世界を訪れた際
世界に漂う魔力に
さらされたことで習得

【魔力操作・甲】

【魔力感知】習得後
アラリーナ・サリスの
手ほどきにより習得

【弓術】

【世渡上手】での最適化
により元来持っていた
能力がスキルとして発現

【健康体+】

習得経緯を解析中……

…なるほど
【健康体+】の
恩恵か……

アラリーナ
【健康体】って
スキル知ってる？

ああ
ああ
体力や魔力の回復や
怪我の治癒などを
うながし状態異常に
対する耐性がつく
希少なスキルだが

……まさか？



異世界補正で
チートスキル
きたー!

とか思ってたそう



実里が
【健康体】を持ってる
ことがわかったよ

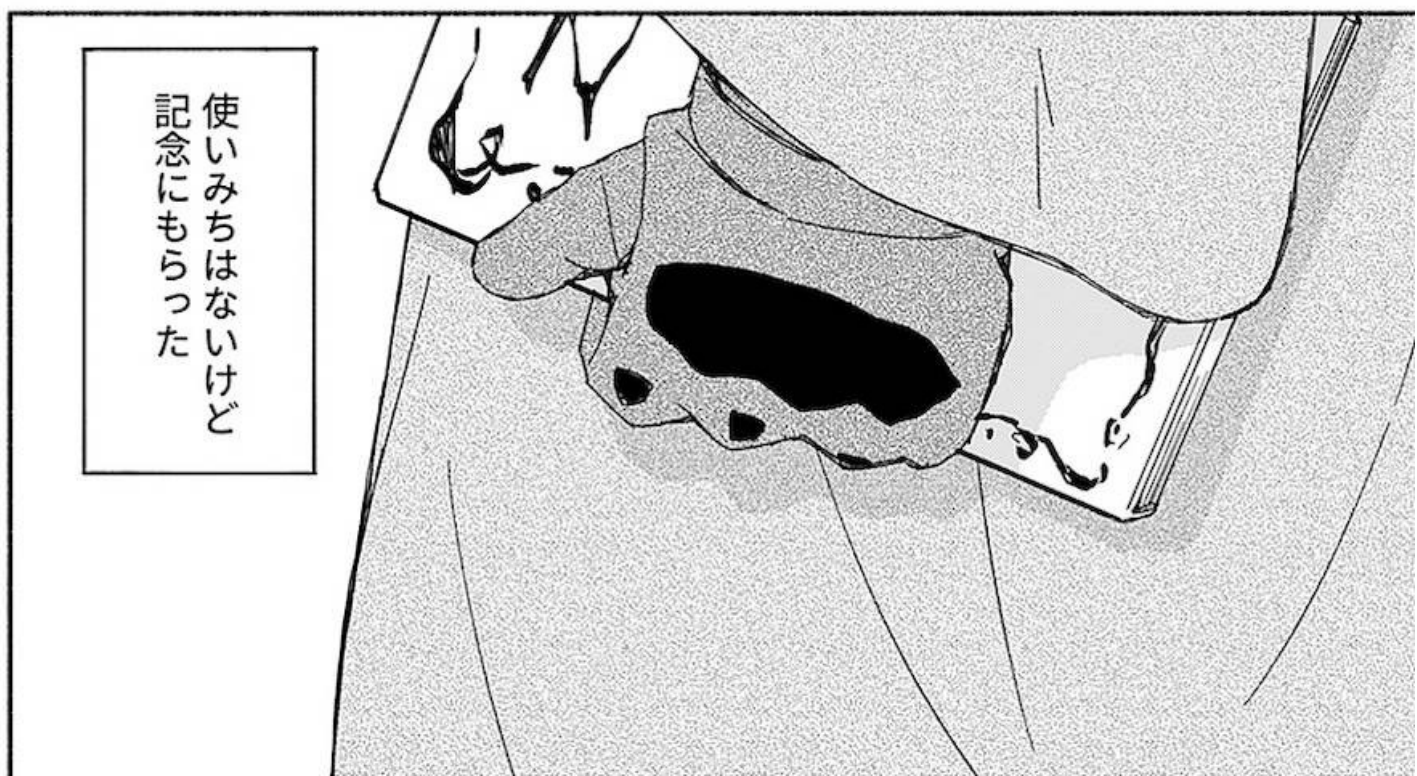
あと花梨も

なるほど
ふたりの回復の速さは
それが理由だったのだな

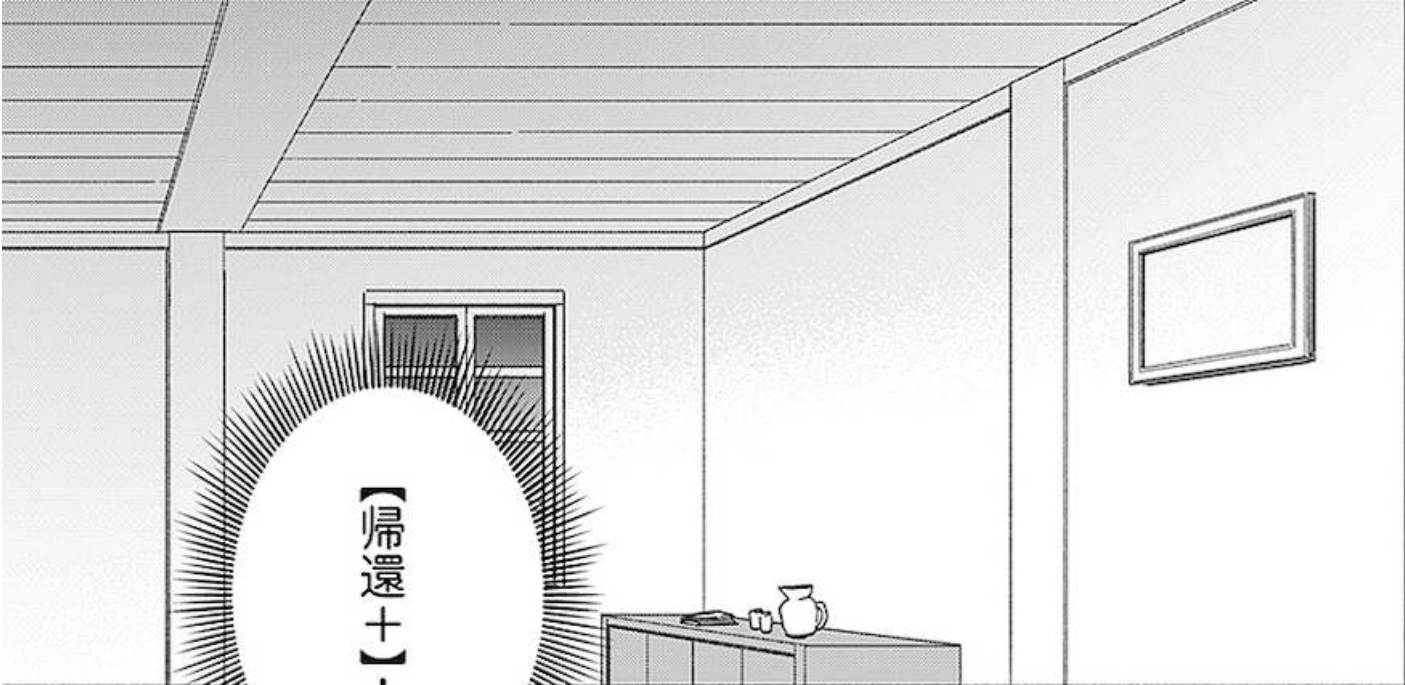
得心かいいた



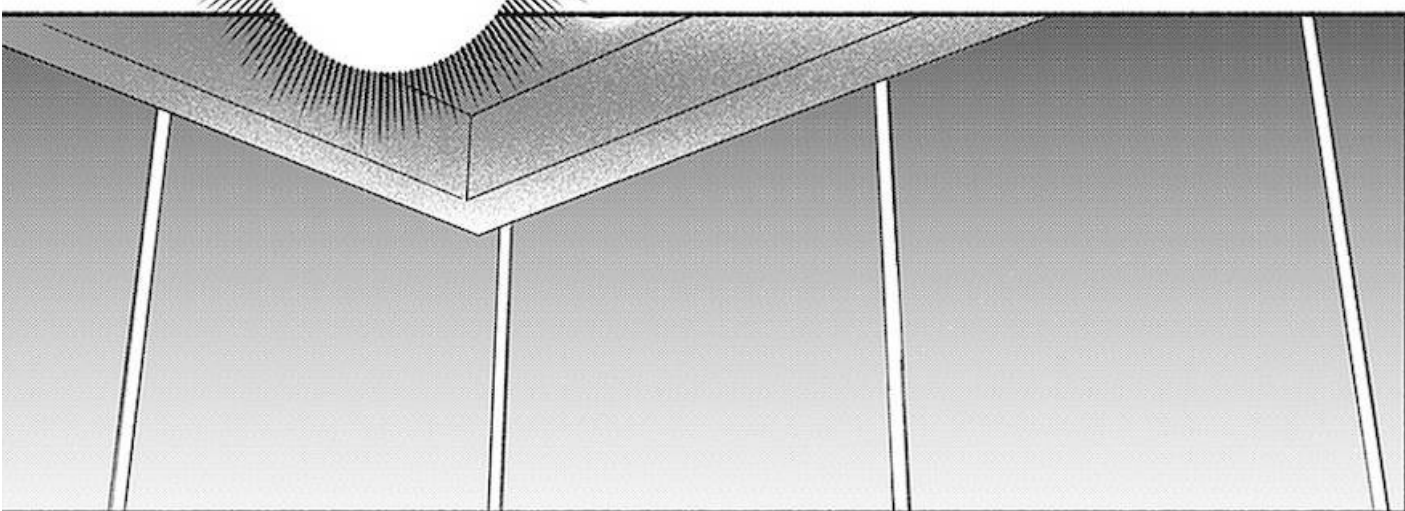
その後
ギルドで魔導書を
受け取って宿に
帰ることにした



使いみちはないけど
記念にもらった



【帰還+】!



と言われても

私たちはまったく
疲れていないのだが

うん

元気

【健康体+】の効果
絶大だねえ!



さて今日は
いろいろあったし
まだ早い時間だけど
風呂に入って寝ようか

でも今から
何かをするには
微妙に遅い時間
だし…

いやいや
そればかりと
いうのは
どうかな…

もわん
もわん

うーん
じゃあなにを
しようか…

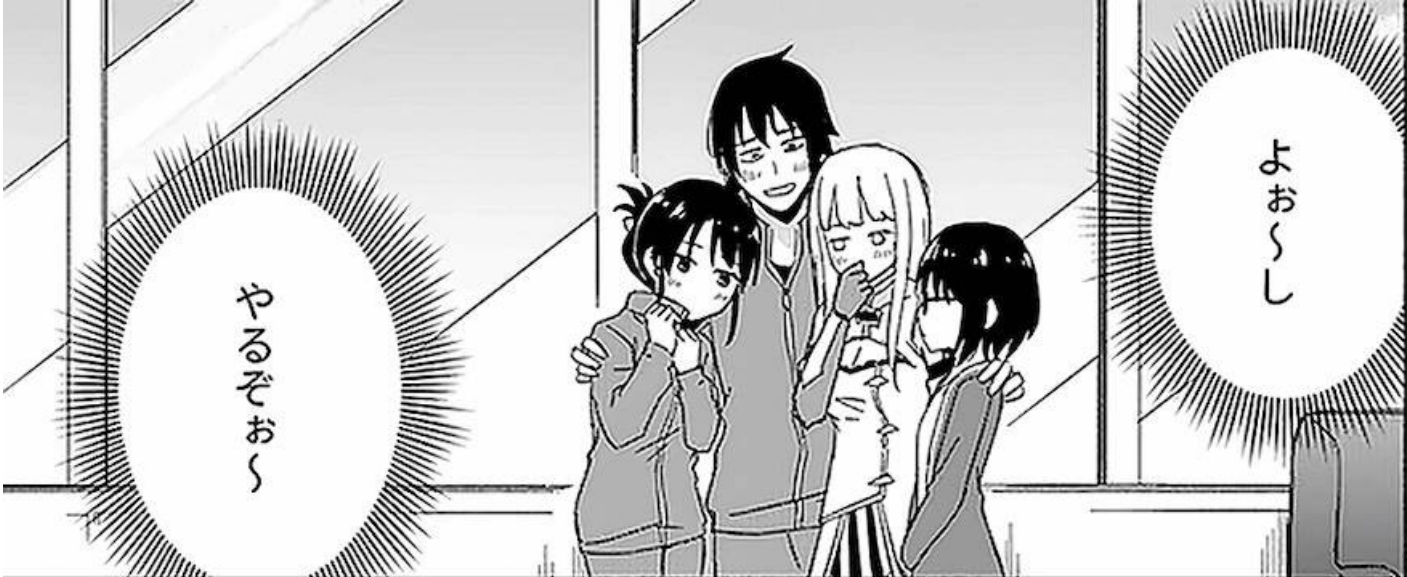
そうだな…
ナニをしようか…

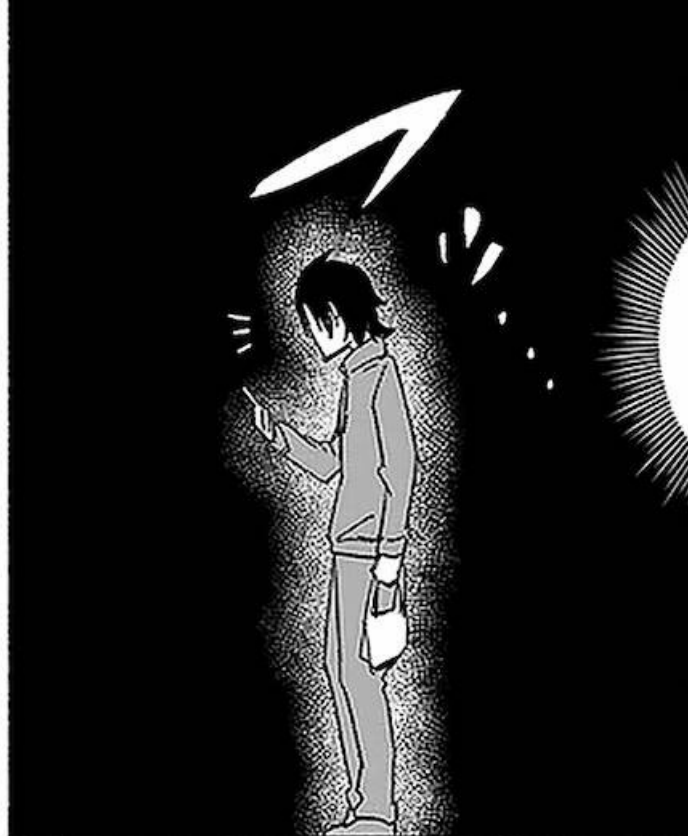
ああたしは
その…いいけど

おや？

…私も
いいですよ

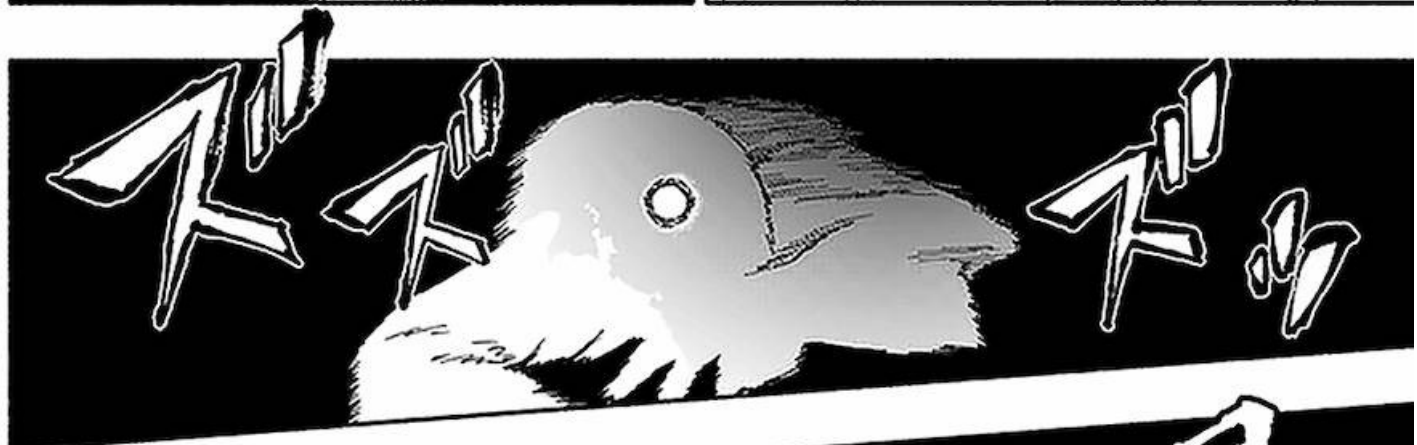






【帰—】

よし5分
びったり



たあ
なあ

見い







ああああ!!

そりや
管理人さんの
加護のおかげで
俺の【鑑定+】に
最高レベルの
看破機能が
ついてるからじゃ
ないですかね？



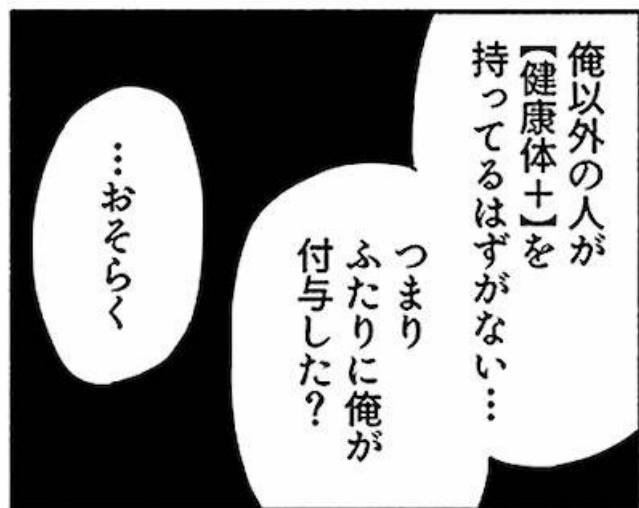
てことは
俺に見られちゃ
まずいんですか？

『+』付きスキルは
藤の堂さん限定の
ユニークスキル
なんですよお…



それは…

あう…



俺以外の人が
【健康体+】を
持ってるはずがない…

つまり
ふたりに俺が
付与した？

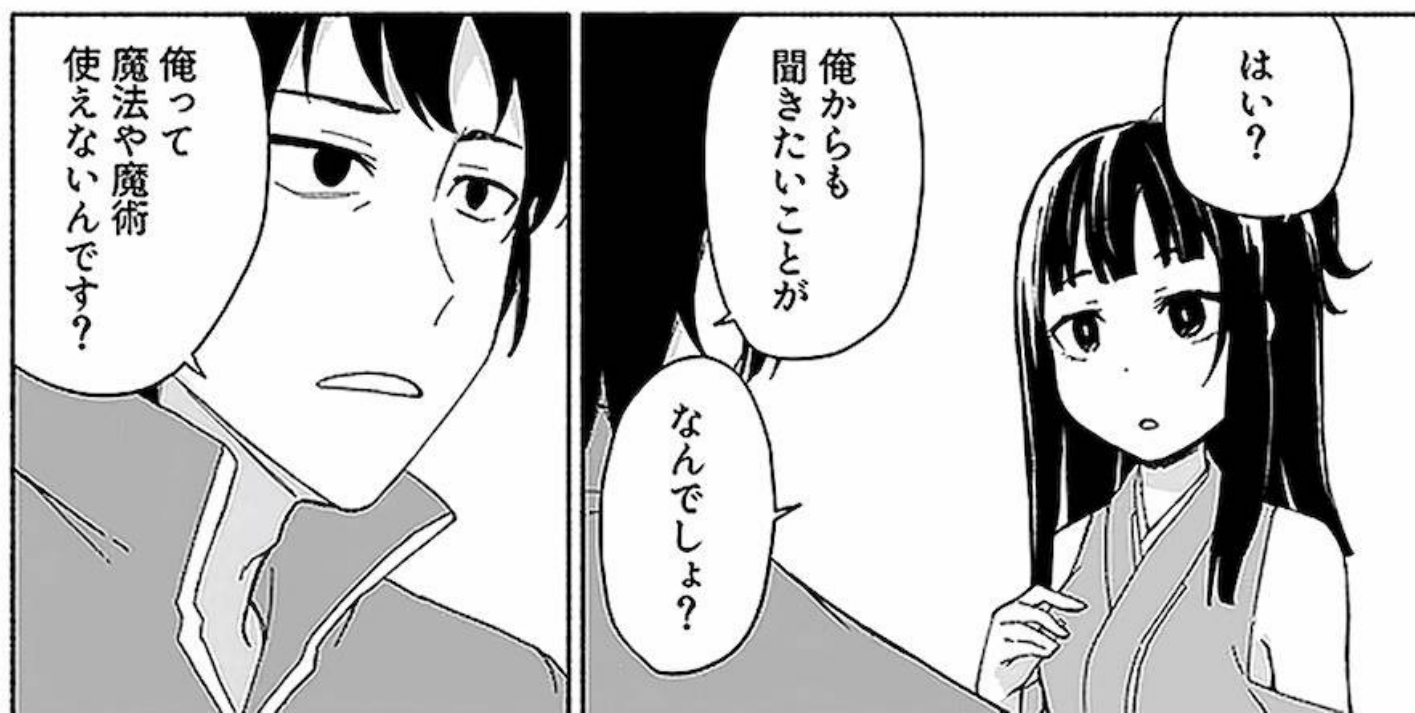
…おそらく

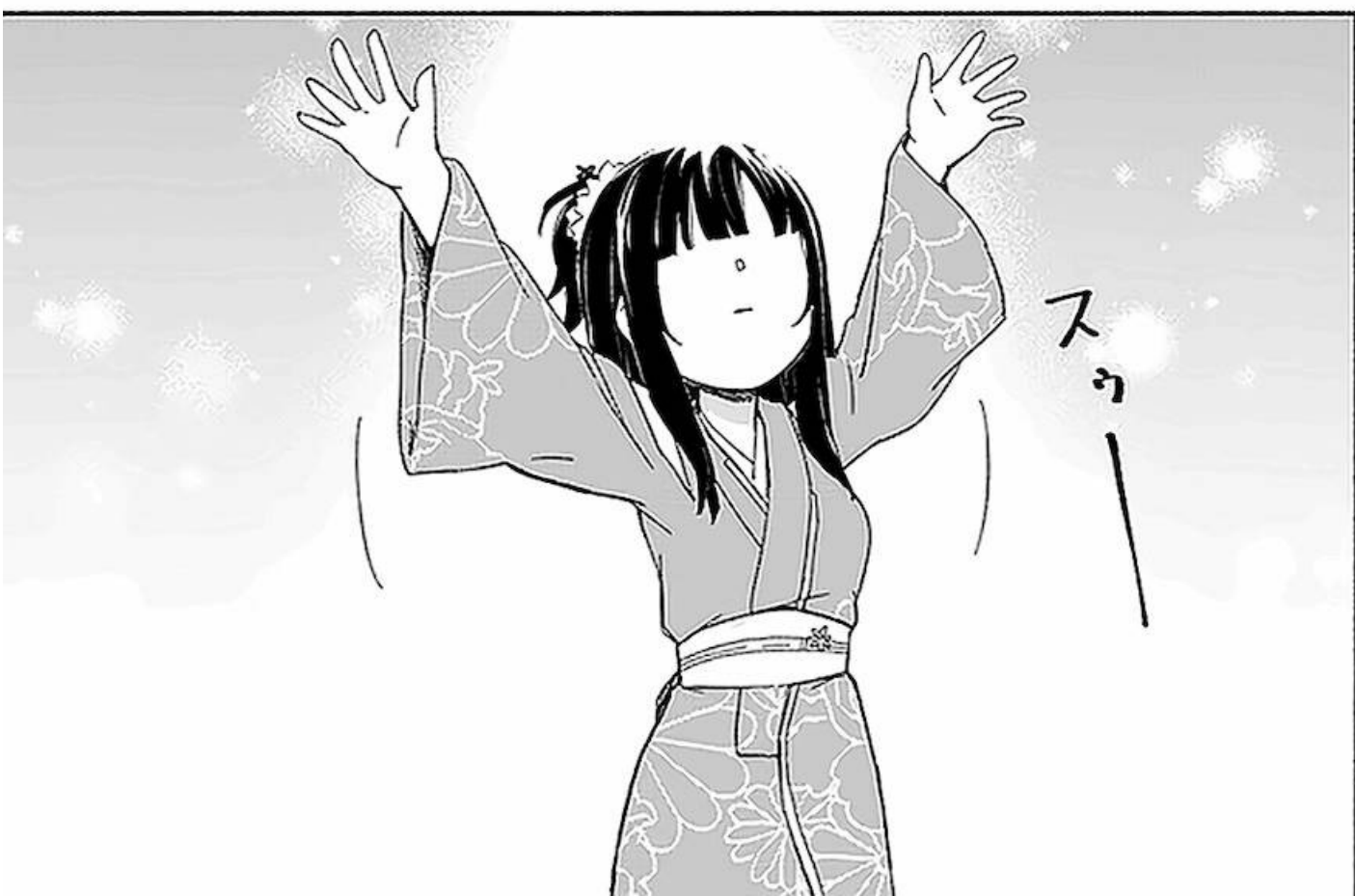


どういう経緯で？









もぉーしわけ

どっど

ありませんでしたあー!!

ごっつ
五体投地ーっ!?

じゅわあ

いやべつに
怒ってるわけじゃ
ないですから!
ちゃんと説明して
ほしただけで!

本当
でしゅか...?

これから何を
聞いても
怒りまじえん
があ...?

怒りません!
怒りませんから!



えーと
藤の堂さんは
魔法も魔術も
使えません

使えるようにも
なりません

スキルもこれ以上
自然には
覚えられません

ごめんなさい

それは
強すぎる魔力供給を
受けているから？

はいそうです
私のせいです
ごめんなさい



代わりに
世界間の行き来は
できなくなりますが

じゃあ

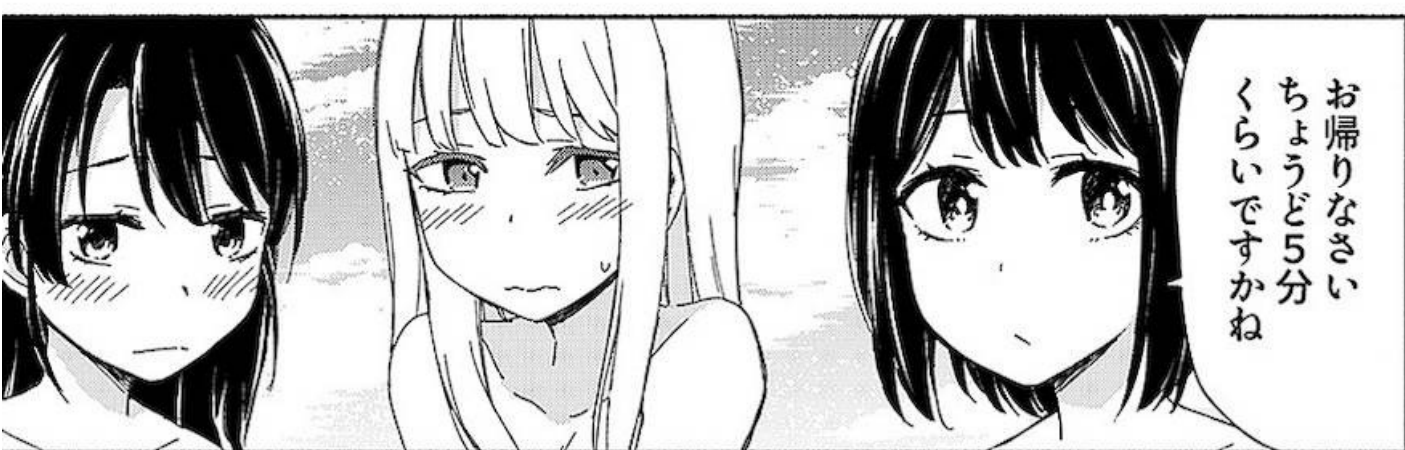
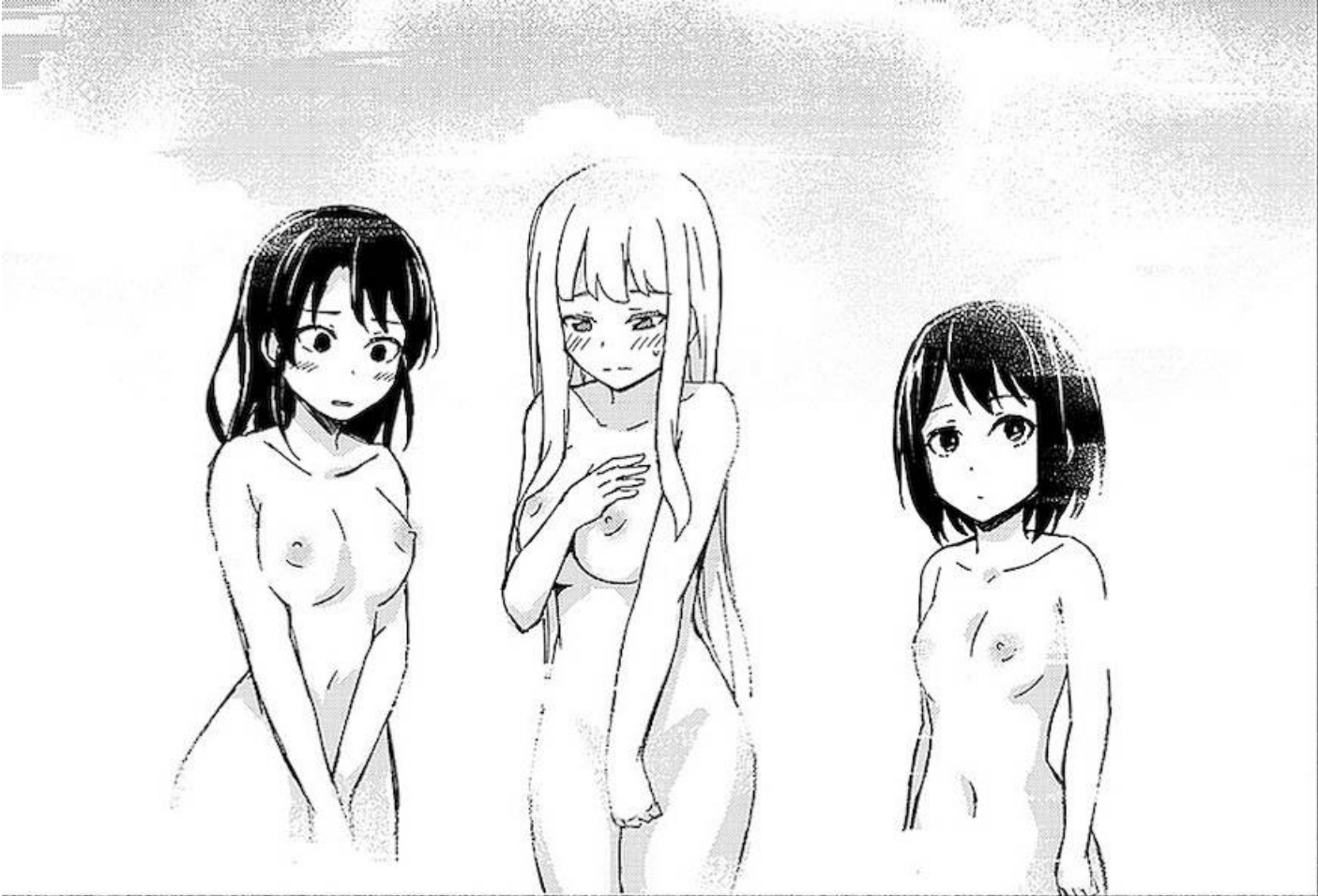
おう…



たとえば
その供給を
停止したら…？

どうなんでしょう
使えるようになる
かもしれないね







じゃあアラリーナ
教えたとおりに

でろお..
ううむ

ざーっざーっ

ぬちゅ

ぬちゅ

んっ...

ふっ...んんっ



はむ..
んちゅ

ゆ夢の
巨乳パイズリ
フェエラやあ..

アラリーナ
舌の動きを
止めちやだめ
啜えながら
まわりを
なぞるように..

詳しいな..

そう...で
ときどき
舌を尖らせて
裏のほうを..

レロ..
ちゅぽ..

ちゅぽ

ちゅぽ







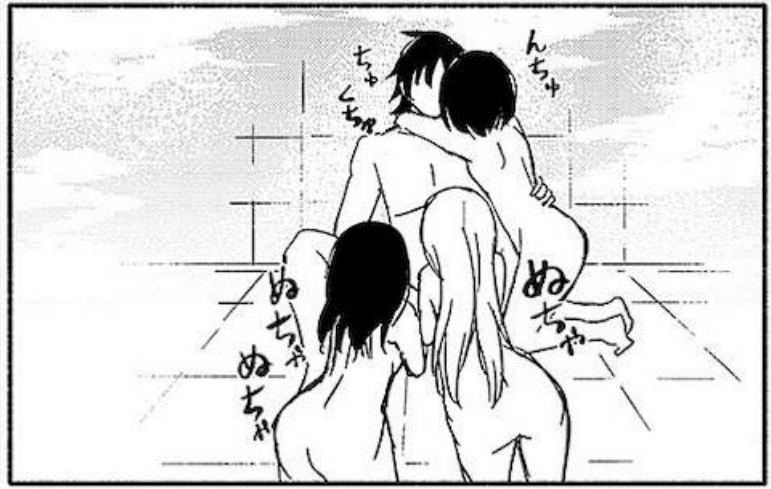
ちよっと
お手伝いしますね



あむ

んちゅ…
レロ…

ちゅる



ちよ実里
それは
や…

やめ—

おほお—っ!?

ス…



ちよっとおイタが
過ぎたんじゃ
ないかなあ!?

か
は

ん

ちよ調子に
乗りすぎました…

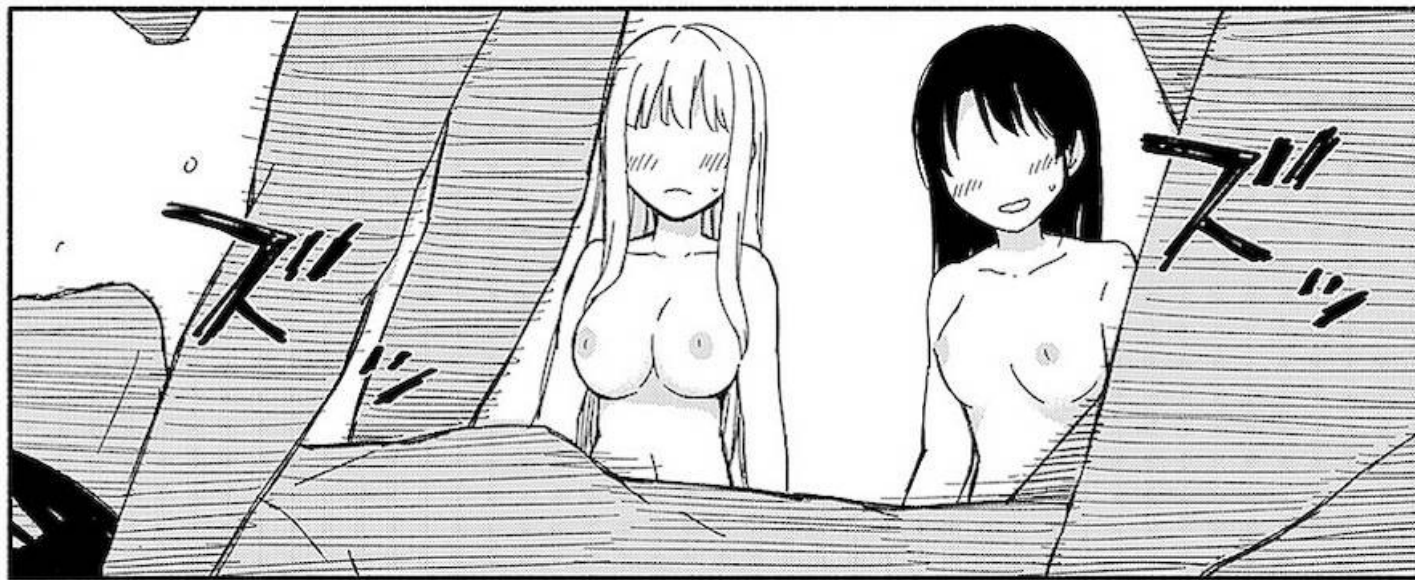
ごめんなさい…

だーめ
悪い子には
おしおきです

ひんひんひんひん!!

ズ

ズ
め





この町
現実世界を
見てみたい？

ううむ
だめかな？

うーん…
今日は花梨と実里を
冒険者ギルドに
連れていこうと
思ってたんだけど

そそうなのか
であればまた
後日にも

陽一
あたしは
いつでもいいよ

私も
急がないです

いやそこは
気を使わなくても

アラリーナこそ
気を使わなくても
いいんだよ？

それに
アラリーナと一緒に
この町を歩くなんて
楽しそうじゃない？

そそうかな…？



よし
今日はアラリーナに
俺たちの世界を
案内しよう!

おー!

はっっ



ふん...

では
よろしく頼む



このたびは
ご愁傷様です



オレ死んじゃった
って
ことっスかあ!?

はい…
残念ながら

ですが



あなたにはこのあと
異世界に転生して
いただきます

異世界?

…転生?

???

?

あっご存知
ないですか?

ええとですね
あなたが今までいた
世界とは別の世界に

生まれ変わって
いただくって
ことです

?



そこは
魔王が不穏な動きを…
遠からず全面戦争が…

あなたは
騎士爵家の三男
武勲次第では
下手な貴族より
出世を…

魔法やスキルといった
能力が存在し…

成長補正に
反則的な特典を…

よくわかんないっスけど
つまりロープレっぽい
世界に行くって
ことっスか?

そうです!



やれやれ…
招かれざる客
というわけですか

つまりこれは—



フッ



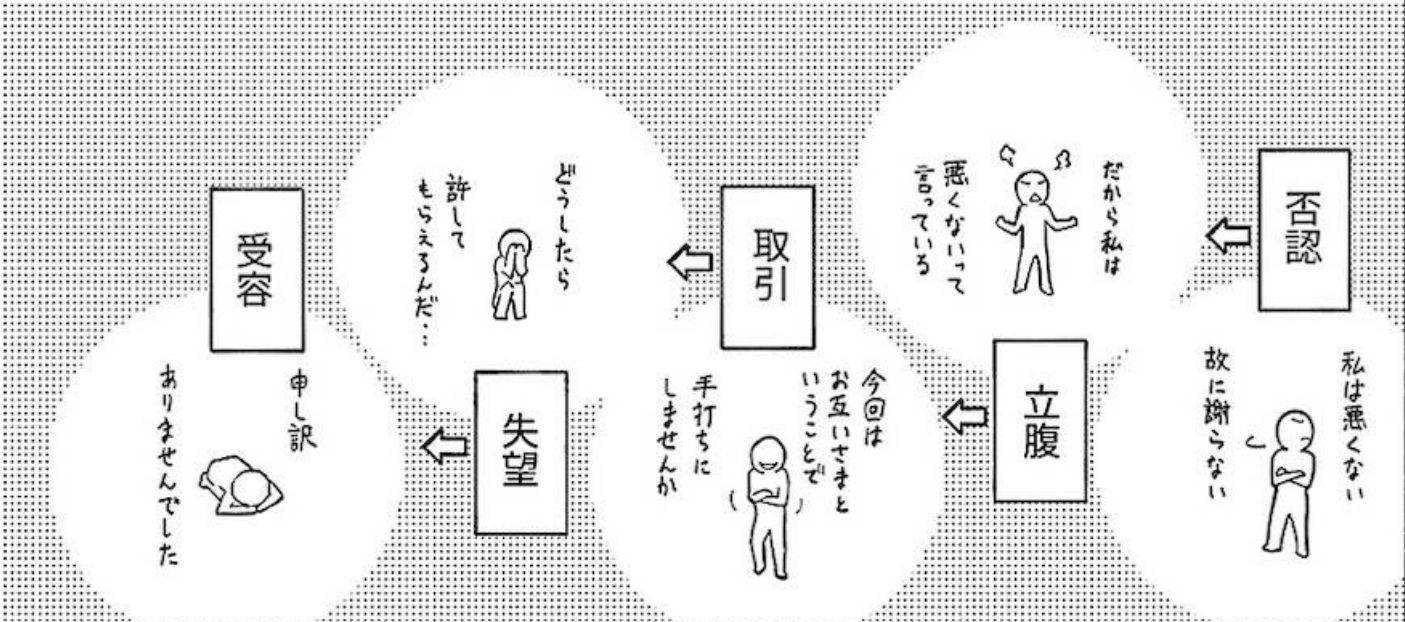
申し訳
ありませんでしたあ!!

あなたを誤って
死なせてしま
いましたあ!!



いきなり何!?

人が土下座に至る
までにたどる
プロセスは長い



誠意

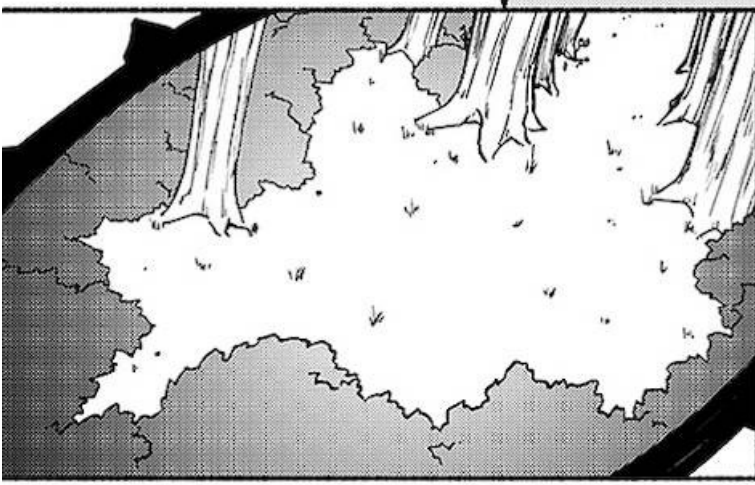




なんだか唐突に
見当違いの感謝を
向けられた
気がします…!!



人気嬢を
予約無しで—
ドキ
ドキ
この幸運を
神に感謝!



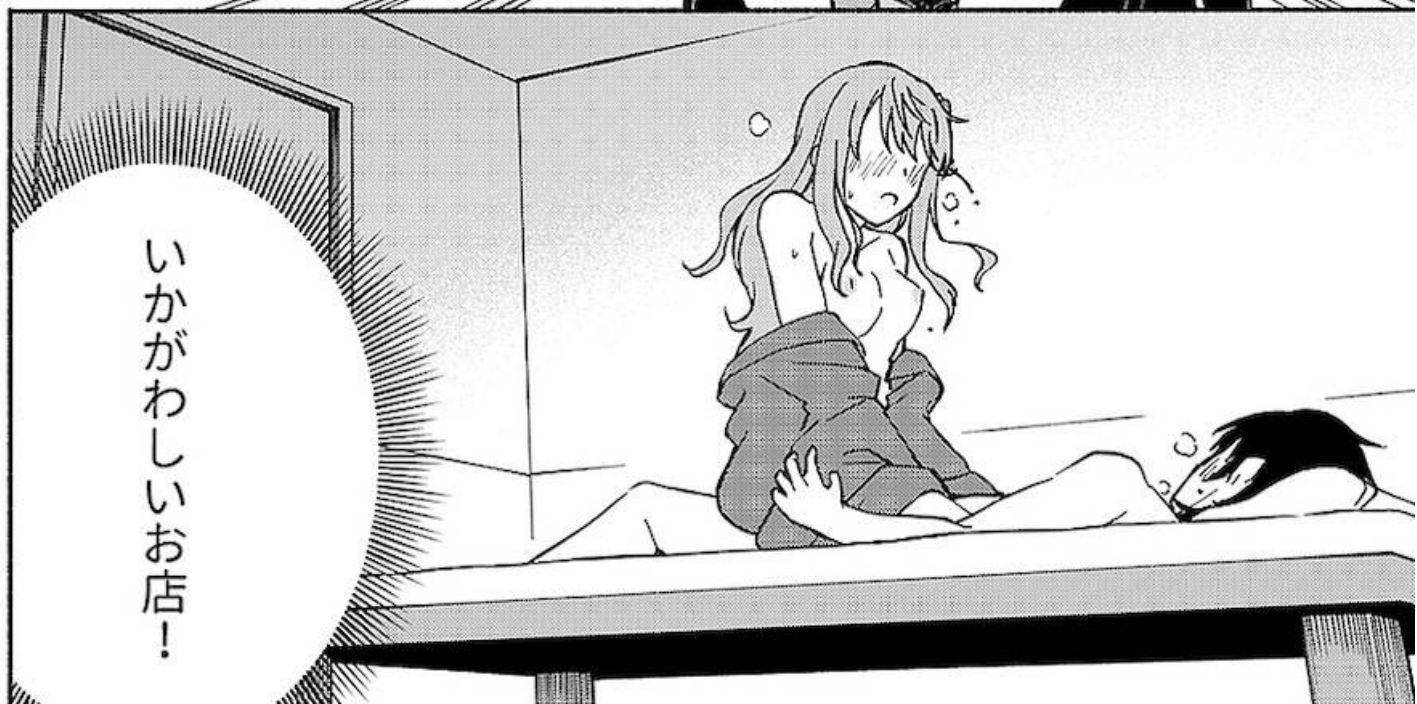
藤の堂さん
そういえば
どのあたりに
転移させたん
だったかしら



元の世界に
いらっしゃる?



あら?





たしかに身体は
完全に修復して
ありますけど！

普通しばらくは
安静にしとこうと
思うものじゃ
ないんですかね！



なにやってるん
ですかあ
藤の堂さん!?



生命の危機に
瀕^{ひん}すると性欲が：
ってやつなんですか
藤の堂さん！



藤の堂さん!!

ブツ
ブツ

アキ
アキ



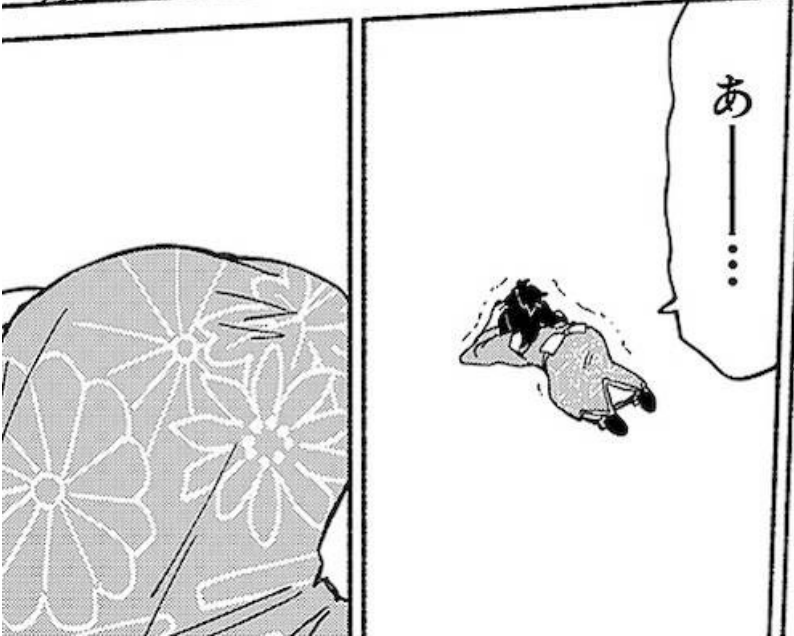


異世界に
転移させるの
忘れてましたあ!!



うわああああ

あああああ



あ……



あああああああ

私はなんてことを



土下座しましょう！



別の謝罪方法はないかしら！



短期間に
同じことをして
伝わるのでしょうか

私の
あふれんばかりの
誠意が



…いや
でもですよ



お好きでしょう？
藤の堂さん



えっちなのが
いいかしら



お詫びに
ご奉仕しますううう

はっ、
はっ、

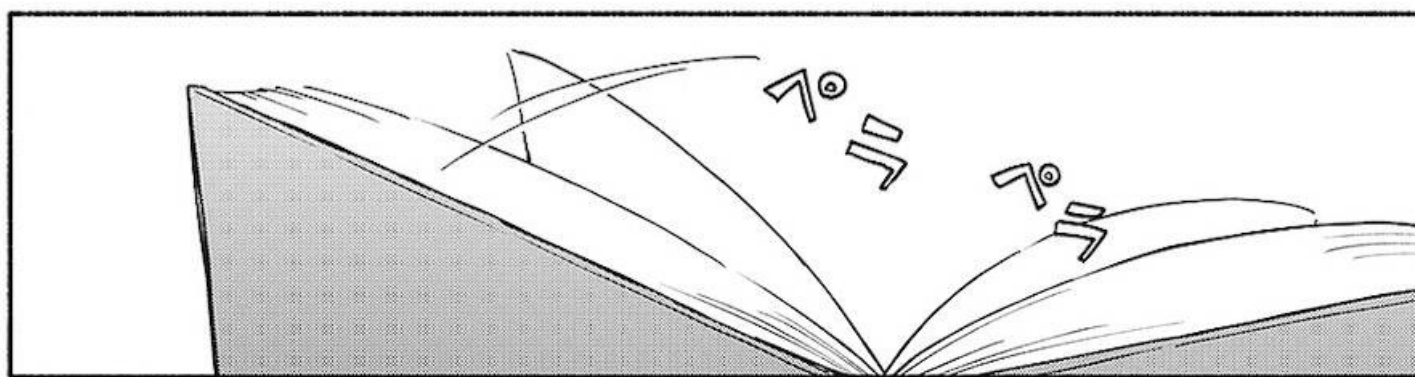
スルッ

私を管理して
くださいねっ



いやー…
ダメでしょう

なにが
私を管理して
なのか



これです…!!

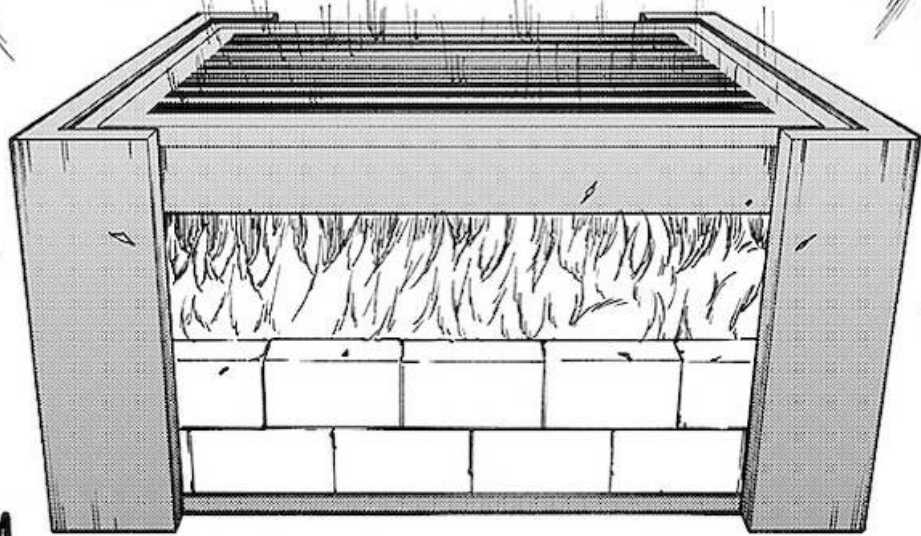
さつそく準備
しましょう!



土下座を超える
土下座

この世で最も
誠意ある謝罪方法





ゴオオオオオオ

熱くない？



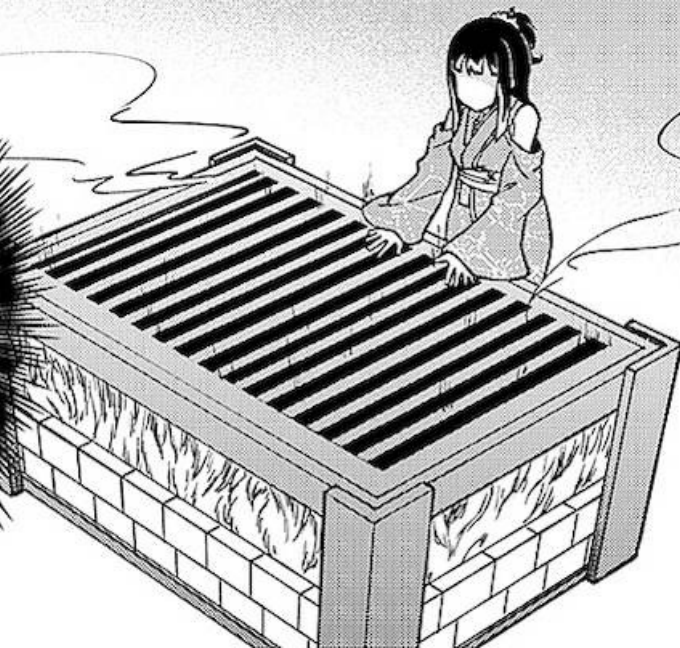
えっ この上で
土下座を…？



いえ…
本当に心から
申し訳ないと
思っているのなら
できるはず…

オオオ

ゴ
思っているから
できるはず！





あっつ!



神ですから
耐えられないことも
ありませんけど
あっつ!

クウクウクウ



ただ
爛れる

焦げる

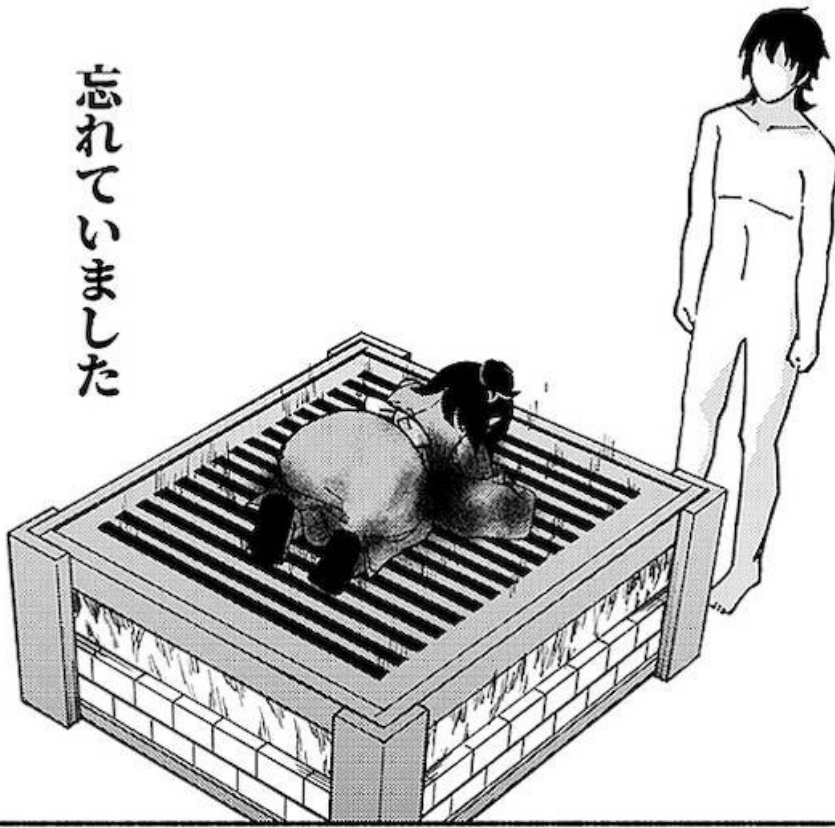
焼ける



クウクウクウクウ

異世界に
転移させるのを

忘れていました



いやあ
私の誠意が
伝わったようで
よかったです！

うーん…

それにしても…





復活早々
お盛んなことで



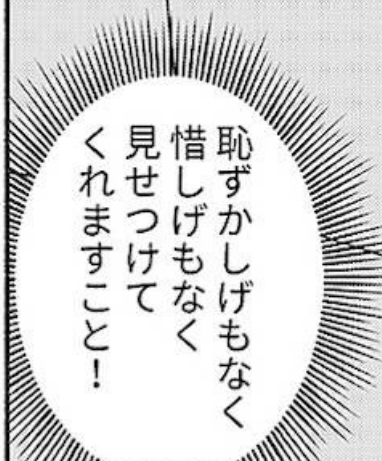
この人
んまあ全裸



見てたの!?



このタイミングで
呼び出したの
こっちですけど



恥ずかしげもなく
惜しげもなく
見せつけて
くれますこと!



ちよっと元気に
なっちゃってんじや
ないですよ!



不可抗力という
やつですよ

ムウッ



って
異世界
行ってるっううう!!

あああああ

ホームポイント
1・ジャナの森

そうだ
ホームポイントの設定
消し忘れてたああああ

うわあああ
キヤ
キャンセルうっ!!

ってそんな
場合じゃないです

空間の固定化を！

えいやっ

元の世界と
異世界とは
存在する次元が
異なってます

その間を
行き来するとなると
時間やら空間やらが
おかしいことにな
ってしまうんですね

藤の堂さんが
キャンセルではなく
再度【帰還+】を
発動させていたら
元の時代に戻れなかつた
可能性もあるんです！

危ないところでした…
まったく
藤の堂さんは…

ポンスカ

釘を刺しておく
必要がありますね

でも
まあ…

私のミス
なんですけど

だろうねと
言いたげな顔

まあ私が
そのあたり全部
なんとかしました
けどね!

さすが!
デキる女は
違いますなあ!

えへへ…
そうですねかあ?

そう
私は管理者

有能

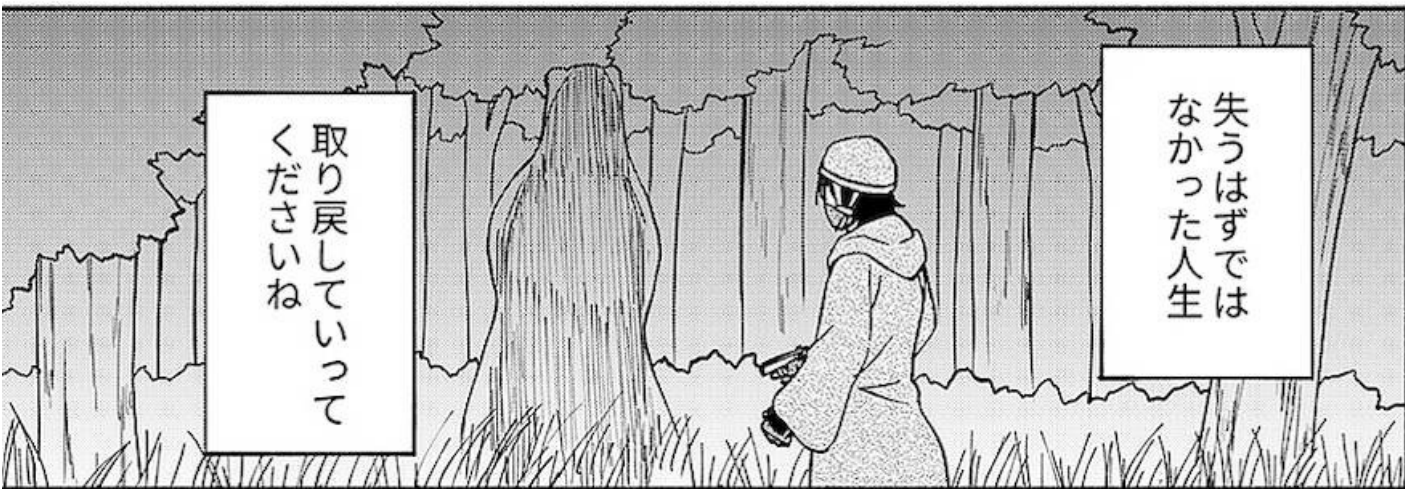
勤勉

そして
誠意ある女神



そっと見守って
いきますから

これからも
藤の堂さんのことを



取り戻していつて
くださいね

失うはずでは
なかった人生



ああ

くっ
きゅ

ブツッ
ブツッ

ブツッ

アキユ

アキユ

